

平成28年度

# 事業報告書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

学校法人 純心女子学園

長崎市三ツ山町 235 番地

## 【I】法人の概要

### 1 学校法人純心女子学園の沿革

昭和	9年	6月	本学設置母体である長崎純心聖母会創立
	10年	4月	純心女学院創立（長崎市西中町（現在の中町））
	11年	4月	純心女学院改め長崎純心高等女学校開設
	12年	3月	長崎市家野町（現在 文教町）に校舎新築し移転
	12年	4月	純心幼稚園開設
	15年	5月	純心保母養成所開設（当時 九州唯一の保母養成所）
	20年	8月	原爆により校舎全焼 214名の学徒殉難
	20年	10月	大村市植松町（元 大村海軍航空廠工員寄宿舎）にて授業開始、昭和24年4月長崎市に復帰
	22年	4月	純心中学校開設
	22年	5月	純心女子専門学校（神学科・被服科）開設
	23年	4月	純心女子高等学校開設
	25年	4月	純心女子短期大学社会科開設（純心女子専門学校を母体とする）
	26年	2月	学校法人純心女子学園認可
	26年	4月	純心女子短期大学保育科開設（純心保母養成所を母体とする）
	26年	4月	聖心幼稚園開設
	42年	4月	西彼純心幼稚園開設
	50年	4月	純心女子短期大学 長崎市三ツ山町235番地に移転
	58年	4月	純心女子短期大学英米文化科開設
	63年	4月	純心幼稚園改築 純心こども図書館を併設
平成	元年	4月	純心女子短期大学社会科に人文社会専攻及び社会福祉専攻設置
	元年	12月	純心女子短期大学専攻科（人文社会専攻、英米文化専攻）の設置認可
	3年	4月	純心女子短期大学専攻科（人文社会専攻、英米文化専攻）開設
	3年	12月	純心女子短期大学専攻科（保育専攻）の設置認可
	4年	4月	純心女子短期大学専攻科（人文社会専攻、英米文化専攻）学位授与機構認定
	4年	4月	純心女子短期大学専攻科（保育専攻）開設
	5年	12年	長崎純心大学設置認可
	6年	4月	長崎純心大学 人文学部（比較文化学科・現代福祉学科）開設
	7年	3月	純心女子短期大学社会科人文社会専攻廃止・専攻科人文社会専攻廃止
	7年	4月	純心女子短期大学社会科を社会福祉科に学科名称変更
	8年	4月	純心女子短期大学専攻科（保育専攻）学位授与機構認定
	9年	12月	長崎純心大学大学院修士課程設置認可
	10年	4月	長崎純心大学大学院人間文化研究科人間文化専攻修士課程
	11年	10月	長崎純心大学人文学部人間心理学科設置認可
	11年	12月	長崎純心大学大学院人間文化研究科人間文化専攻博士後期課程設置認可
	12年	3月	純心女子短期大学社会福祉科廃止
	12年	4月	長崎純心大学人文学部人間心理学科開設
	12年	4月	長崎純心大学大学院人間文化研究科人間文化専攻博士後期課程開設
	12年	4月	純心女子短期大学を長崎純心大学短期大学部に名称変更
	12年	10月	長崎純心大学人文学部英語情報学科設置認可
	13年	3月	長崎純心大学短期大学部英米文化科廃止
	13年	4月	長崎純心大学人文学部英語情報学科開設
	14年	5月	長崎純心大学人文学部児童保育学科設置認可
	15年	4月	長崎純心大学人文学部児童保育学科開設
	19年	3月	長崎純心大学短期大学部廃止
	19年	6月	長崎純心大学附属純心保育園開設
	20年	3月	西彼純心幼稚園廃止
	20年	4月	認定こども園認定（純心幼稚園・純心保育園）
	27年	4月	幼保連携型認定こども園長崎純心大学附属純心幼稚園に移行（←純心幼稚園・純心保育園）
	29年	3月	聖心幼稚園廃止

## 2 設置する学校・学部・学科等及び所在地

設置する学校	開校年月日	設置する学部等	所在地
A 長崎純心大学	平成 6年4月1日	人文学部	長崎市三ツ山235番地
	平成 6年4月1日	比較文化学科	
	平成 6年4月1日	現代福祉学科	
	平成12年4月1日	人間心理学科	
	平成13年4月1日	英語情報学科	
	平成15年4月1日	児童保育学科	
	平成10年4月1日	大学院	
	平成10年4月1日	人間文化研究科(修士)	
	平成12年4月1日	人間文化研究科(博士)	
B 純心女子高等学校	昭和23年4月1日	全日制課程(普通科)	長崎市文教町13-15
C 純心中学校	昭和22年4月1日		長崎市文教町13-15
D 聖心幼稚園	昭和26年4月1日		佐世保市三浦町4-25
E 幼保連携型認定子ども園長崎純心大学附属純心幼稚園	平成27年4月1日		長崎市文教町13-15
※純心幼稚園(昭和12年4月1日開園)、純心保育園(平成19年4月1日開園)より移行			

## 3 学部・学科等の入学定員、学生数の状況

### (1) 長崎純心大学

学年	学部	学科	入学定員	28年5月1日現在	備考
1	人文学部	比較文化学科	40	31	
		現代福祉学科	60	44	
		人間心理学科	60	51	
		英語情報学科	40	38	
		児童保育学科	100	101	
	人間文化研究科(修士)	15	12		
	人間文化研究科(博士)	3	1		
	小計		318	278	
2	人文学部	比較文化学科	40	33	
		現代福祉学科	60	38	
		人間心理学科	60	57	
		英語情報学科	40	35	
		児童保育学科	100	95	
	人間文化研究科(修士)	15	1		
	人間文化研究科(博士)	3	11		
	小計		318	270	
3	人文学部	比較文化学科	40	53	
		現代福祉学科	65	54	
		人間心理学科	65	57	
		英語情報学科	40	35	
		児童保育学科	90	108	
	人間文化研究科(博士)	3	2		
	小計		303	309	
4	人文学部	比較文化学科	40	47	
		現代福祉学科	65	61	
		人間心理学科	65	55	
		英語情報学科	40	34	
		児童保育学科	90	108	
	小計		300	305	
大学合計			1,239	1,162	

### (2) 純心女子高等学校

学年	課程名	入学定員	28年5月1日現在	備考
1	高校全日課程・普通科	280	203	
2		280	217	
3		280	214	
合計		840	634	

(3) 純心中学校

学年	課 程 名	入学定員	28年5月1日現在	備 考
1	中学校	80	70	
2		80	66	
3		80	68	
合 計		240	204	

(4) 幼稚園

	入学定員	28年5月1日現在	備 考
聖心幼稚園	110	31	
合 計	110	31	

(5) 幼保連携型認定こども園

	入学定員	28年5月1日現在	備 考
幼保連携型認定こども園長崎純心大学附属純心幼稚園	250	229	
合 計	250	229	

4 役員・教職員の人数（平成28年5月現在）

(1) 役 員

理 事 9名（うち、理事長1名、常勤理事5名）

理事長	片 岡 千鶴子	常 勤
理 事	山 野 アヤ子	非常勤
”	片 岡 瑠美子	常 勤
”	東 千代子	常 勤
”	山 口 光 枝	常 勤
”	塩 崎 弘 明	常 勤
”	谷 川 憲 二	常 勤
”	齋 藤 寛	非常勤
”	高 見 三 明	非常勤

監 事 2名

監 事	柴 田 芳 男
監 事	白 濱 重 晴

(2) 評 議 員 20名

片 岡 千鶴子	田 口 知加子
山 野 アヤ子	玉 城 雄 一
片 岡 瑠美子	川 上 敏 彦
東 千代子	池 井 大 仙
高 見 三 明	山 頭 照 美
塩 崎 弘 明	池 田 洋 子
谷 川 憲 二	山 口 光 枝
荒 木 慎一郎	山 下 肇
山 田 幸 子	出 口 啓二郎
大 町 謙 治	齋 藤 寛

(3) 教員・職員

区分 部門	教 員									職 員				
	専 任 教 員							契約 教員	非常勤 教員	教員 合計	専任	非常勤	契約 職員	職員 合計
	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	計							
法人	2						2			2	2			2
長崎純心大学	28	19	8	6	2		63		155	218	32	27	5	64
純心女子高等学校						42	42	2	14	58	7	6	1	14
純心中学校						13	13	1	2	16	1	2	1	4
聖心幼稚園						4	4			4	1	5		6
幼保連携型認定こども園純心幼稚園						16	16		15	31	4	11		15
合 計	30	19	8	6	2	75	140	3	186	329	47	51	7	105

## 【Ⅱ】事業概要

### 平成28年度事業計画概括

平成28年度の事業計画は、前年度に学園創立80周年関連事業の総仕上げを行い、それに相呼応した第三期中期目標・計画実施の2年目にあたる基本計画の推進を骨子とするものであった。これまでの営為を振り返り、かつ、これから先の営為を展望し得るにあたって、正に平成28年度はその転換期に当たる年度でもあった。事業計画の遂行に当たっては、「機を見るに敏」との気概で臨んだ。

平成27年度までの学園創立80周年記念事業による地域連携センターの拡充整備、文教町キャンパスの環境整備、奨学金の充実等を終え、来る100周年に向けて新たな歩みを進めるとともに、20年先を見据えた取り組みを見定め、学園の教育研究の使命をより確かに継承していくため、新たに『純心マッチ基金』寄附事業を開始することとした。

平成27年度から実施の運びとなった、学園の中期目標・計画は2年目を迎え、「教育」、「研究・実践」、「地域貢献」、「管理運営」及び「財務」の5項目の中期目標に対応した各部門での実施計画の実施状況について、PDCAサイクル体制の下で点検評価を行った。特に、地域貢献では、地域に根ざして発展していくために学園全体で取り組んでおり、大学では、新たに「地方創生特待生」入試制度を導入するとともに、株式会社長崎新聞社及び長崎歴史博物館と包括的連携協力に関する協定書を締結し、地域社会に寄与するための施策を講じている。また、教育の面では、グローバル人材の育成に取り組んでおり、大学では、ドイツのマインツ・カトリック大学に学生及び教職員を派遣し、夏には本学でサマースクールを実施して10名の外国人留学生を受け入れて、本学の学生との国際交流を深め、中学・高校においては、生徒のニュージーランド及びカナダでのホームステイを実施した。

しかし、一方で少子化、人口減少等により、学校法人を取り巻く環境がますます厳しいものとなっており、本学園でも、その影響から免れ難く、中学・高校において近年定員割れが続いており、また、大学においても平成27年度以降定員割れの状況が続いていることから、学生・生徒の募集対策を積極的に実施し、学生・生徒の確保に努力して来たが、定員を満たすことができず、収支の不均衡を招来する。そこで、選ばれる学園として改革・改善に鋭意取り組み、大学では、平成29年度から現代福祉学科を地域包括支援学科に名称を変更するとともに、学部再編検討委員会を立ち上げて平成30年4月での再編に向けて検討を行っている。今後は、学生・生徒の獲得に向けて、広報活動・募集活動の戦術を再考していかなければならない。

また、昭和5年に学園創立者の早坂久之助司教によって設立された聖心幼稚園（佐世保市三浦町）は、園舎の老朽化に伴って閉園し、設立から86年の長い歴史に幕を閉じた。一方、平成27年度から始まった幼保連携型認定こども園の純心幼稚園は、教育機能・保育機能・子育て支援機能を一体的一貫的に行うもので、本園において今まで行ってきたモンテッソーリ教育に基づき、園児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即して一貫した教育・保育、子育て支援を行っており、待機児童の解消にも貢献するものである。

いずれにせよ、事業計画の概括に当たっては、本法人の主体となる組織の求心力が高まる核をかため、引き続き「機を見るに敏」の事業計画を引き続き推進しなければならない。

## 平成28年度 学校法人純心女子学園事業報告(概要)

### 1. 学校法人純心女子学園

- ①聖心幼稚園を3月末で廃止し、3月20日に感謝ミサ・閉園式及び感謝の宴を実施した。
- ②平成28年度の点検評価を項目毎（教育、研究・実践、地域貢献、管理運営、財務）及び事業所毎に行った。
- ③「人と世界に奉仕する」人材育成の教育研究使命を継承するために、創立90周年、創立100周年に向けて『純心マッチ基金』寄附事業を開始した。
- ④大学の体育館棟（マリアンホール）の耐震補強工事が平成29年3月28日に竣工した。

### 2. 長崎純心大学大学院

- ①大学院学則の一部改正を行い、長崎純心大学卒業生及び卒業見込み者（長崎純心大学短期大学部及び純心女子短期大学を含む。）で本学大学院博士前期課程に入学する者については、入学料は不徴収にすることを整備した。
- ②博士前期課程及び博士後期課程の入試において、社会人の受け入れに努めた。

### 3. 長崎純心大学

- ①平成29年度に認証評価（大学基準協会）を受審するため、「点検・評価報告書」を作成して、関係書類とともに大学基準協会に提出した。
- ②学校教育法施行規則の改正に伴い、三つのポリシー（方針）の公表が義務化され、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの見直しを行った。
- ③大学設置基準等の改正に伴い、平成29年4月からスタッフ・ディベロップメント（SD）の機会を設けることが義務化されるため、教員及び事務職員の協働組織であるSD委員会を設置する規程を整備した。
- ④学部再編検討委員会を設置して、既存の学科の再編等を検討し、平成29年4月に現代福祉学科を地域包括支援学科に名称を変更し、他の4学科についても学科の統合及び改編に向けて検討を行っている。
- ⑤地域社会の発展に寄与するため、株式会社長崎新聞社と長崎純心大学との包括的連携協力に関する協定書を、また、長崎歴史文化博物館と長崎純心大学との包括的連携協力に関する協定書を締結した。
- ⑥平成29年度の入試制度として、入学年度の入学料、授業料及び教育充実費を全額免除する「地方創生特待生入試」を導入し実施した。
- ⑦平成27年度交流協定を締結したドイツのマインツ・カトリック大学に学生及び教職員を派遣し、平成28年度本学でサマースクールを実施して10名の外国人留学生を受け入れた。
- ⑧長崎純心大学外部評価委員会を設置し、平成28年度人文学部カリキュラムの改革等の教育・研究体制について、外部評価を受けた。
- ⑨長崎大学医学部主幹で平成27年度に採択された「未来医療研究人材養成拠点形成事業」に共同研究に参画し、長崎大学医学部との「共修」を実施した。
- ⑩長崎大学主幹で平成27年度に採択された大学改革推進等補助金「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業CO-C+」に参画し、新たに遠隔授業システムを導入した。

- ⑪私立大学等改革総合支援事業への取組（タイプ:1 教育の質的転換、タイプ 2:地域発展）に採択された。
- ⑫私立大学等経営強化集中支援事業（タイプA）に採択された。
- ⑬平成 28 年度卒業生の就職希望者の就職率は、各学科で 100%を達成することができた。

#### 4. 純心中学校・純心女子高等学校

- ①平成 28 年度の教育目標である「主体性への挑戦（私が自ら考え行動する）〈私が私を生かし、みんなを生かす〉」を実行した。
- ②朝の読書（8 時 35 分～45 分 10 分間）を実施した。（中 1・2 は、『e ラーニングすらら』で自学）
- ③基礎力充実テストを実施した。（週 1 回 朝礼時 中学は中 3 のみで国・英・数 高校は国・英）
- ④長崎県「魅力ある私立学校づくり支援事業」の補助を受け、グローバル人材の育成に力を注いだ。
- ⑤実用英語技能検定を全員受検した。（高Ⅲ は 6 月・中高ⅠⅡは 1 月）
- ⑥日本漢字能力検定を受検した。（希望者 38 名）
- ⑦創立記念感謝ミサに参加した。（12 月 8 日 浦上教会）
- ⑧小羊会西坂巡礼を実施した。（1 月 21 日）
- ⑨二十六聖人放送講話を実施した。（2 月 2 日 1 校時 デ・ルカ・レンゾ師）
- ⑩1 年に 1 回、クラスごとに三ツ山のセミナーハウスに宿泊し、農作業・奉仕活動を体験した。（錬成会）
- ⑪英語の多聴多読を実施した。… 中学(全)・高Ⅰ(全)・Ⅱ(国公立・理系・文英)・Ⅲ(文英) 於：CALL 教室

#### 5. 幼保連携型認定こども園長崎純心大学附属純心幼稚園

- ①「言葉にならない声を聞き取りましょう」を目標に教育保育に努めた。  
初代園長のお言葉を生きようと「神様にも、人さまにも喜ばれる人に」を標語にあげ、まずは教職員から笑顔で挨拶、職員一同の連携、祈る心を忘れないことを通して、子どもたち一人ひとりのことばにならない声に耳を傾け、子どもや保護者の心の思いに気づき援助できるよう毎日の教育保育の具体的な示唆としてきた。
- ②一人ひとりを大切に作る温かい関わりの合いの中で、神さまの愛と生命の尊さを知り、愛と奉仕のできる子どもの育ちを目指した。
- ③個別と自己活動によって自主・自立を助け、人格の基礎を培うモンテッソーリ教育において、0～6 歳児のモンテッソーリ教育を導入し、個別活動の時間を充実させることが出来た。0～3 歳のモンテッソーリ教育の充実を図った。
- ④老人ホーム・施設訪問、勤労感謝訪問など地域の方とのふれあいを持った。

#### 6. 聖心幼稚園

- ①モンテッソーリ教育を柱として、環境整備を充実させ、精神的・身体的バランスのとれた成長を目指し、3 月の閉園に向けた今年は、本物に出会う機会を多く計画し、「イエス様のように子どもに仕える」ことを目標として、人格形成の基礎を培うことをめざした。
- ②文化面では情操的経験として生の演奏を聴く機会を持った。クリスマス会に琴アンサンブル



ルオリーブの会によるクリスマスソングメドレーの演奏を実施。例年聖劇は年長児だけでおこなっていたのを、今年は、年長児、年中児、年少児、年少少児の全員で取り組みアットホームな出来栄で参加者にも非常に喜ばれた。食育として芋の苗植えから収穫まで信徒の方の全面的な協力を受けて実施できた。また、音楽の1年間の取り組みとして2月にミニコンサートを開催した。ピアノ、打楽器の演奏に加え、歌・手話ソングを披露した。

- ③行事では、今年も始園・終園の集いを聖堂にて祈りのうちに過ごすことを大切にした。卒園式は中村神父様にお話をお願いして共に祈ることができた。お祝いの言葉に加えて、神様の祝福をいただき、18名が卒園出来たことは大きな喜びであった。運動会は多くの方の協力と参加のうちに例年にない盛り上がりを見た。特に三浦町教会の方の賛助出演は暖かく楽しいプログラムとなった。最後に参加者全員でメッセージを付けた150個のバルーンを青空に飛ばし思い出深い運動会となった。

## 1. 学校法人

### (1) 聖心幼稚園を廃止

- ① 聖心幼稚園（佐世保市三浦町）を園舎の老朽化に伴い3月末で廃止し、3月20日に感謝ミサ・閉園式及び感謝の宴を実施した。

### (2) 『純心マッチ基金』寄附事業を開始

- ① 「人と世界に奉仕する」人材育成の教育研究使命を継承するために、創立90周年、創立100周年に向けて『純心マッチ基金』寄附事業を開始した。

### (3) 中期目標・中期計画等

- ① 平成28年度の中期計画の実施状況の点検評価を項目毎（教育、研究・実践、地域貢献、管理運営、財務）に各事業所で行い、平成29年3月6日の理事会で承認を得た。

### (4) 寄附行為の改正

- ① 学校法人純心女子学園寄附行為を改正した。（平成29年4月1日施行）
  - ・長崎純心大学「現代福祉学科」を「地域包括支援学科」に名称変更
  - ・「聖心幼稚園」を廃止のため削除
  - ・資産総額の変更登記を、会計年度終了後2月以内から3月以内に変更

### (5) 規則等の制定、改正

- ① 純心女子高等学校学則を改正した（平成29年3月6日施行、12月1日適用）。
- ② 純心女子学園役員就業規則を改正した。（平成29年4月1日施行）
- ③ 純心女子学園役員報酬規程を改正した。（平成29年4月1日施行）
- ④ 就業規則（学園・幼稚園）を改正した。（平成29年4月1日施行、一部、平成29年3月6日施行、1月1日適用）
- ⑤ 非常勤職員就業規則（学園）を改正した。（平成29年4月1日施行、一部、平成29年3月6日施行、1月1日適用）
- ⑥ 給与規程（学園・幼稚園）を改正した。（平成29年4月1日施行）
- ⑦ 非常勤職員給与規程（学園・幼稚園）を改正した。（平成29年4月1日施行）
- ⑧ 純心スカラシップ制度規程を改正した。（平成28年11月8日施行、7月1日適用）
- ⑨ 学校法人純心学園ハラスメント防止規程を制定した。（平成29年3月6日施行、1月1日適用）
- ⑩ 育児休業及び育児短時間勤務に関する規則を改正した。（平成29年3月6日施行、1月1日適用）
- ⑪ 介護休業及び介護短時間勤務に関する規則を改正した。（平成29年3月6日施行、1月1日適用）

### (6) 体育館棟（マリアンホール）の耐震補強工事の竣工

- ① 大学の体育館棟（マリアンホール）の耐震補強工事が平成29年3月28日に竣工した。

## 2 長崎純心大学大学院

### (1) 大学院の入試

- ①大学院学則の一部改正を行い、長崎純心大学卒業生及び卒業見込み者（長崎純心大学短期大学部及び純心女子短期大学を含む。）で本学大学院博士前期課程に入学する者については、入学料は不徴収にすることを整備した。
- ②博士前期課程及び博士後期課程の入試において、社会人の受け入れに努めた。

## 3 長崎純心大学

### (1) 点検・評価報告書の作成等

- ①平成 29 年度に認証評価（大学基準協会）を受審するため、「点検・評価報告書」を作成して、関係書類とともに大学基準協会に提出した。
- ②長崎純心大学外部評価委員会を設置し、平成 28 年度人文学部カリキュラムの改革等の教育・研究体制について、外部評価を受けた。

### (2) 三つのポリシー（方針）の公表及びSD義務化への対応

- ①教育法施行規則の改正に伴い、三つのポリシー（方針）の公表が義務化され、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーの見直しを行った。
- ②大学設置基準等の改正に伴い、平成 29 年 4 月からスタッフ・ディベロップメント（SD）の機会を設けることが義務化されるため、教員及び事務職員の協働組織であるSD委員会を設置する規程を整備した。

### (3) 学部再編検討

- ①学部再編検討委員会を設置して、既存の学科の再編等を検討し、平成 29 年 4 月に現代福祉学科を地域包括支援学科に名称を変更し、他の 4 学科についても平成 30 年 4 月の学科の統合及び改編に向けて検討した。

### (4) 地域貢献・地域連携活動

- ①地域社会の発展に寄与するため、株式会社長崎新聞社と長崎純心大学との包括的連携協力に関する協定書を、また、長崎歴史文化博物館と長崎純心大学との包括的連携協力に関する協定書を締結した。
- ②地域連携センターの活動として、カウンセリング、訪問相談、研修等で学外の 22 機関を訪問し、高齢者対象生涯学習講座及び地域連携センター公開セミナーを実施した。

### (5) 地方創生特待生入試の導入

- ①平成 29 年度の入試制度として、入学年度の入学料、授業料及び教育充実費を全額免除する「地方創生特待生入試」を導入し実施した。

### (6) 学則等の改正

- ①長崎純心大学学則を改正した（平成 29 年 4 月 1 日施行）。
- ②長崎純心大学大学院学則を改正した（平成 29 年 4 月 1 日施行）。
- ③長崎純心大学地方創生特待生の授業料等減免規程を制定した。（平成 29 年 4 月 1 日施行）
- ④長崎純心早坂特待生の授業料等減免規程を制定した。（平成 29 年 4 月 1 日施行）

⑤長崎純心大学兄弟姉妹による授業料減免規程を改正した。(平成 29 年 4 月 1 日施行)

## (7) 科学研究費補助金・科学研究費助成金等

①平成 28 年度科学研究費補助金の申請は、7 件申請し 3 件採択された。前年度からの継続が 1 件である。また、研究分担者として 1 件が採択された。合計：5 件となった。

②長崎大学申請の「平成 27 年度未来医療研究人材養成拠点形成事業」の共同研究に継続して参画し、長崎大学医学部との「共修」を実施した。

③長崎県内大学間連携共同教育推進事業「長崎発グローバル人材育英プログラム」に参加した。

④長崎大学申請の平成 27 年度大学改革推進等補助金「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業COC+」に参画し、新たに遠隔授業システムを導入した。

⑤私立大学等改革総合支援事業への取組 タイプ 1 (教育の質的転換)、タイプ 2 (地域発展) が採択された。

⑥私立大学等経営強化集中支援事業 (タイプ A) が採択された。

⑦コンプライアンス教育・研究倫理教育の研修会を、平成 29 年 2 月 1 日に実施した。

今回の研修会では、教職員だけではなく大学院学生も参加した。

## (8) 大学教育・研究事業

①「学生の主体性を育てる地域貢献・国際交流活動」を実施した。

②「グローバル・コンピテンス育成のための国際プロジェクト運営開発研究」を実施した。

③「カトリック思想家の「人格」理解の研究—ジャック・マリタン、マリア・モンテッソーリ、エディット・シュタインを中心に—」を実施した。

④平成 27 年度交流協定を締結したドイツのマインツ・カトリック大学に学生及び教職員を派遣し、平成 28 年度本学でサマースクールを実施して 10 名の外国人留学生を受け入れた。

## (9) 平成 28 年度教員免許状更新講習の実施

平成 28 年度教員免許状更新講習を本学で実施した。

①開催日 平成 28 年 6 月 11 日から 8 月 10 日までのうち 7 日間

②参加者数 必修領域の受講者 170 名、選択領域の受講者が 522 名 延べ 692 名

③時間数 延べ 16 コマ 96 時間

④教員数 延べ 27 名

## (10) 平成 28 年度幼稚園教諭免許状特例講習の実施

①認定こども園法の一部改正により「幼保連携型認定こども園」に配置される職員は、保育教諭の資格が必要となり、その資格取得のため幼稚園教諭免許状特例講習を実施した。講習では「教育課程の意義及び編成の方法」に係る科目『保育課程論』を開設し、16 名の受講者があり、平成 28 年 10 月 22 日、11 月 12 日の土曜日の 2 日間実施した。

## (11) FD 研修等

①FD 研修は、平成 29 年 3 月 13 日 (月) 10 時 30 分から 16 時まで実施し、午前の部では、大学基準協会の生和秀敏特任研究員による「第 3 期認証評価における大学評価システムの変更について」の講演及び本学の片岡瑠美子学長による本学の教育理念「知恵のみちを歩み人と世界に奉仕する」について講演が行われた。午後の部では、「教育理念、

- ディプロマ・ポリシーの整理と目標の共有」について、グループワークが実施された。
- ②FD Newsletter 第5号を平成29年1月1日に発行した。
  - ③授業参観は、平成28年11月24日～12月9日まで実施した。
  - ④学生による授業アンケートを平成28年7月19日～7月29日を実施した。
  - ⑤高大連携として、長崎純心大学で平成28年10月7日「大学へ行ってみよう！」の企画で純心女子高校1年生を対象に見学会実施し、また、純心女子高校2年生対象に平成28年10月20日に「授業見学」を長崎純心大学で実施した。
  - ⑥出前講義を大村高校で平成28年7月12日、清峰高校で平成28年9月13日、西稜高校で平成28年10月20日、長崎北陽台高校で平成28年10月24日、25日の2日間、島原高校で平成27年10月28日に実施した。

## (12) SD 研修

- ①平成28年8月30日（火）に『大学教育の質向上について』を主テーマに、第1回のSD研修会を開催し、「大学改革について」、「教学マネジメントについて」、「厚生補導：クラブ活動について」、「厚生補導：特別な対応が必要な学生へのキャリア支援について」、また、「グループ討議：大学の3つのポリシーについて」をテーマに研修を実施した。
- ②平成28年8月31日（水）に『情報セキュリティ等について』を主テーマに、第2回のSD研修会を開催し、「中長期計画について」、「財務状況について」、「サイバー犯罪の脅威の変遷と最新動向について」、「本学の情報セキュリティの現状について」、また、「グループ討議：事例による情報セキュリティについて」をテーマに研修を実施した。なお、第1回及び第2回の研修には、鹿児島純心女子大学から5名の参加があった。
- ③平成29年1月5日（木）に第3回のSD研修会を開催し、『長崎純心大学の魅力をこうアピールする～純心のいいところの気づき～』を主テーマに、「グループ討議A：高校生から選ばれる大学へ」、「グループ討議B：充実した学生生活を送れる大学へ」、「グループ討議C：社会から高評価される大学へ」の内容で討議を行った。
- ④平成28年度事務の各課(室)の業務改善計画を4月に作成し、翌年3月に1年間の業務改善状況をまとめた。

## (13) 学生活動状況

- ①熊本大地震被災支援プログラムとして、本年度も延べ11名の学生と延べ4名の教員がシルバーさくら樹訪問介護事業所（熊本市東区佐土原3丁目）で被災者支援活動を2回行った。（平成28年6月26日、7月3日）
- ②学生の海外留学8名、実習・研修等37名、合計45名の学生が海外渡航を行った。
- ③学生のボランティア活動として87名のUサポート登録者が、くれよんメイトの活動に延べ98名参加した。また、児童保育学科の学生延べ1,015名がボランティアとして幼稚園、保育園、小学校等で活躍した。

## (14) 入試広報活動

- ①平成28年度長崎純心大学進学懇談会を県内高校の進路指導の教員を対象に平成28年6月29日に実施した。
- ②山口、福岡、佐賀、大分、熊本、宮崎、6県の高校102校、長崎県の高校34校に教職員が訪問し大学の説明や学生の状況等の説明を行った。

- ③企業等が実施する進学説明会及び高校の70会場に出向き大学の説明を行った。
- ④大村城南高校(21名)、長崎明誠高校(25名)、長崎商業高校(24名)、諫早高校(44名)、長崎鶴洋高校(13名)から本学の訪問を受け、長崎純心大学の説明を行った。

## (15) 就職活動状況

- ①長崎純心大学に260社の求人のため来訪があり、学内で118社が企業説明会を開催した。
- ②教職員が86社を訪問し、大学の紹介・説明を行った。
- ③キャリアセンター及びキャリア支援システム説明会61回開催し、学生425名の参加があった。
- ④学内企業説明会(単独・合同)に学生599名が参加した。また、学内就活セミナーに677名が参加し、学外イベント等に293名が参加した。
- ⑤平成28年度卒業生の就職希望者の就職率は、各学科で100%を達成することができた。

## (16) 施設整備・改修

- ①事務システム等の再構築として、ハードウェア、サーバ、事務用パソコンの更新を行った。
- ②入試・経理システムの改修を行った。
- ③平成30年度の入試に向けてWeb出願システムの初期導入を行った。
- ④S棟310教室(講義室)にCOC+の事業として遠隔講義システム(電子黒板、カメラ等)を設置した。
- ⑤L棟(早坂記念図書館)の屋上防水工事を行った。
- ⑥体育館棟(マリアンホール)耐震補強工事を行った。

## (17) 生涯学習等

### 1) 博物館の企画展

- ①「長崎と南蛮文化～山下南風の版画とともに～」展(4月25日～6月18日)
- ②「原爆～平和への祈り～」展(6月28日～8月11日)
- ③「長崎の教会」展(9月2日～10月30日)
- ④「迫平陽子と世界のクリスマス」展(11月15日～1月14日)
- ⑤博物館見学者は延べ3,098名であった。

### 2) 公開講座等

- ①「長崎学講座」(5月7日～7月16日:全11回)、参加者:延べ382名
- ②第43回純心博物館講座「長崎と長崎学の行方」(5月21日)、参加者:108名
- ③第55回長崎・キリシタン文化研究会「長崎の教会建築」(6月4日)、参加者:84名
- ④第36回長崎学一般公開講座「ドミニコ会士が見た日本のキリスト教迫害と殉教」(11月26日)、参加者:85名
- ⑤外国人のための日本語能力試験対策講座(5月14日～6月25日)、  
参加者:延べ117名
- ⑥外国人のための日本語能力試験対策講座(10月15日～11月26日)、  
参加者:延べ79名
- ⑦TOEICに備える特別セミナーPart1(5月28日)、参加者:30名

- ⑧TOEIC に備える特別セミナーPart2 (10月1日)、参加者：17名
- ⑨第16回心理教育相談センター講演会「認知症の現在」(6月4日)、参加者：88名
- ⑩純心カレッジ三ツ山塾「18歳以上の知的障がい者を対象とした公開講座」(6月11日～2月25日)、参加者：延べ150名
- ⑪第21回児童教育支援センター講演会「感性と表現の源へ ～感じて 気づいて 伝えあう～」(6月18日)、参加者：118名
- ⑫第22回児童教育支援センター講演会「子どもが育つように教える〈声〉の追求 ～松川先生と学ぶほんもののコミュニケーション～」(11月5日)、参加者：57名
- ⑬英語観光ガイド講座「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(6月18日～11月26日)  
参加者：延べ249名
- ⑭第2回長崎純心大学人文学部人間心理学科主催講演会「犯罪心理学入門」(10月22日)  
参加者：83名
- ⑮第39回英語教育公開講座「小・中・高・大 一貫した学習到達目標とは？」  
(11月14日)、参加者：45名
- ⑯第7回純心福祉実践研究会「災害と福祉 今、福祉施設・事業所・関係者に求められているものは」(11月19日)、参加者：51名

#### 4. 純心中学校・純心女子高等学校

##### (1)教育における特色ある取組

「平成28年度の教育目標」

主体性への挑戦 〈私が自ら考え行動する〉〈私が私を生かし、みんなを生かす〉

##### 【全校生】

- ①朝の読書(8時35分～45分 10分間)実施(中1・2は、『eラーニングすらら』で自学)
- ②基礎力充実テストの実施(週1回 朝礼時 中学は中3のみで国・英・数 高校は国・英)
- ③長崎県「魅力ある私立学校づくり支援事業」の補助を受け、グローバル人材の育成に力を注いだ。
- ④実用英語技能検定を全員受検(高Ⅲは6月・中高ⅠⅡは1月)
- ⑤日本漢字能力検定受検(希望者38名)
- ⑥創立記念感謝ミサ参加(12月8日 浦上教会)
- ⑦小羊会西坂巡礼(1月21日)
- ⑧二十六聖人放送講話(2月2日1校時 デ・ルカ・レンゾ師)
- ⑨年に1回、クラスごとに三ツ山のセミナーハウスに宿泊し、農作業・奉仕活動を体験(錬成会)。
- ⑩英語の多聴多読… 中学(全)・高Ⅰ(全)・Ⅱ(国公立・理系・文英)・Ⅲ(文英) 於：CALL教室

##### 【中学生】

- ①コース制(アドバンス・スタンダード)の充実
- ②ティームティーチングの実施…1年生の数学

- ③習熟度別授業の実施 … 3年生の国語・英語・数学
- ④総合学習・LHR … 消費生活出前講座・人権学習・救急救命サポート講座（中1）  
税務署講話・薬物乱用防止講座（中3）・独占禁止法教室 など
- ⑤授業参観・懇親会・相談会（年2回）を開催
- ⑥定期試験前学習会の実施
- ⑦英語学習…「春の英検祭」「秋の英検祭」実施
- ⑧キャリア教育 2年生 … 卒業生の体験談を聴く
- ⑨夏期学習合宿 … 希望者 23名参加 於：セミナーハウス 7月22日～23日
- ⑩音楽鑑賞会 … 木管アンサンブルとギター演奏（12月6日 聖堂）
- ⑪中学2年生 沖縄修学旅行（12月14日～16日）
- ⑫黙想会参加 … 1、2年（岡秋美師 3月8日）・3年（鶴崎伸也師 3月8日）
- ⑬中学1年生 がまだすドーム見学（3月17日）

#### 【高校生】

- ①部活動と難関大学進学の両立を実現するため、総合特別コースを新設（I年3組）。
- ②高校I年…初期指導（4月の10日間）  
・学び直し（国・英・数・理・社） ・キャリア教育講演、集団行動 など。
- ③総合学習・LHR … マナー講座・薬物乱用防止講座・人権学習・消費者教育講座・国際理解など
- ④高校全学年 進路説明会（5月21日 土曜日）  
特別講演会 … 「高校生・保護者のための進学マネープラン」  
秋吉美和先生（有限会社オールバーグ 代表取締役）
- ⑤ハウステンボス英語研修 … 高II文英コース（6月27日）  
イングリッシュスクエアで英語研修 ※魅力ある私立学校づくり支援事業
- ⑥魅力ある私立学校づくり支援事業講演会（7月2日）  
講師：ホセ・デルコス氏（ラ・サール学園理事長）  
演題「性格、アイデンティティ、価値観、習慣等が変わりつつあるグローバル社会に与える影響」
- ⑦長崎県高等学校国際教育研究協議会 高校生夏季研修会にII・III年生6名参加  
（諫早青少年自然の家 7月14～15日）
- ⑧九州夢大学参加（希望者）福岡国際会議場（7月25日）
- ⑨高校生模擬裁判選手権（対 佐賀西高校）に、8名が検察側で参加し優勝。  
（8月8日 於：長崎地方裁判所）
- ⑩夢ナビライブ参加（希望者 126名）マリンメッセ福岡（10月15日）
- ⑪東京純心高等学校I年生(130名)が来校し、本校高校I年生と交流会を実施（10月27日）
- ⑫上戸町病院 医療講演会（11月5日）希望者による参加
- ⑬高校II年生 関東修学旅行（12月12日～15日）
- ⑭黙想会参加 … 高I（ブー・カイン・トウソウ師 3月17日）高II（片柳弘史師 同日）  
高III（西経一師 2月7日）
- ⑮高校III年生 … 卒業前研修・体験学習（進路決定者）



- ・講演「若者のための消費生活入門」（長崎市消費者センター 佐藤加奈江氏）
- ・講演「私の母校 純心女子学園」（Sr.山口キヌエ）
- ・講演「対等な関係をつくるために」（ソロプチミスト長崎 佐藤紀代子氏）
- ・講演「輝く未来の命をつなぐ食の在り方～卒業前に伝えたい具体策」  
（「大地といのちの会」代表 中尾慶子氏）
- ・新生活応援セミナー（官公学生服・鈴木服装）
- ・DVD鑑賞『うまれる～いのちの授業』

## （２）国際交流

- ①海外学校交流プログラム「第12回 韓国テレサ女子高等学校ホームステイ」  
韓国釜山の姉妹校テレサ女子高等学校を、高校生15名・引率教員2名が訪問  
韓国の文化を学び交流を深めた。（5月25日～29日）
- ②モナコ少年合唱団との交流（中学生）（7月19日）  
・中学3年生とのグループ交流 ・中学コーラス部が浦上教会で共演
- ③ニュージーランドのオークランド市ホームステイに高校生8名・引率教員1名が参加  
グレンフィールドカレッジでの体験学習・文化交流を実施（7月27日～8月9日）
- ④海外学校交流プログラム … 韓国釜山の姉妹校テレサ女子高等学校の生徒来校  
生徒15名・引率教員2名が来校し、交流を深めた。（1月20日～24日）
- ⑤第1回カナダホームステイ（3月14日～29日）  
カナダのアルバータ州カルガリー市を中学3年生12名・引率教員2名が訪問  
語学研修と文化交流を実施（3月14日～3月29日）

## （３）危機管理

- ①学校保健委員会を2回開催した。（7月21日・3月9日）
- ②衛生管理委員会を6回開催した。
- ③体罰に関するアンケートを実施した。（1月）
- ④いじめに関するアンケートを実施した。（5月・9月・1月）

## （４）職員研修

- ①校内職員研修 テーマ「発達障害等の生徒への対応について」（6月21日 13:15～14:30）  
講師 吉田ゆり先生（長崎大学教育学部教授）
- ②校内職員研修（8月25日（木）13:20～16:20）  
・佐田英二先生（弁護士 法テラス長崎法律事務所）  
「スクールコンプライアンスとクレーム対応について」  
・潮谷有二先生（長崎純心大学 現代福祉学科教授）  
「地域包括ケアとこれからの福祉について」
- ③長崎カトリック教職員協議会 … 10名参加（11月5日 於：カトリックセンター）
- ④グローバル教育研修・学校視察  
・英語を英語で教えるための指導力英語力セミナー（都久志会館 福岡市 7月29日）  
・4技能につながる基礎力向上指導法セミナー（御堂筋エスジービル 大阪 8月4日）  
・九州多読教育新人セミナー及び公開授業見学（福岡女学院中高 10月21～22日）

- ・第18回教育研究大会（SGH中間報告会）（京都市立堀川高校 11月16～17日）
- ・グローバル時代の次世代教育セミナー（アクア博多 12月10日）
- ・名古屋大学教育学部附属中高 SGH 二次研究成果発表会（2月9～10日）
- ・読書の楽しみを伝える多読指導セミナー（東京都新宿区SEG多読教室 2月11日）
- ・私立学校特別研修会 英語教育改革特別部会（京都光華中学高校 2月17～18日）

#### ⑤教科指導研修

- ・算数・数学教育研修会（代々木ゼミナール福岡校 4月17日）
- ・長崎県高等学校研究会数学会（県立長崎東高校 6月24日）
- ・東京学芸大学附属高校第15回公開教育研究大会（東京学芸大学附属高校 6月25日）
- ・授業法研究ワンデイセミナー（代々木ゼミナール福岡校 8月6日）
- ・第27回宗教倫理担当者ワークショップ（南山学園霊性センター 8月9～12日）
- ・長崎県高校国語部会総会並びに研究大会（県立大村高等学校 10月21日）
- ・第46回長崎県私学教育研修会（保健体育）（長崎日大中学高等学校 10月25日）
- ・九州地区カトリック学校連盟 第38回宗教研修会（福岡ガーデンパレス 10月27～29日）
- ・第30回長崎国語教育実践研究大会（精道三川台中学高等学校 11月5日）
- ・ダンス指導者講習会（県立総合体育館 11月25日）
- ・数研セミナー（数学）（福岡市 リファレンス 駅東ビル 12月10日）
- ・入試頻出英語長文を読む（駿台 福岡校 2月16日）
- ・私立学校特別研修会 英語教育改革特別部会（京都光華中学・高校 2月17～18日）
- ・高校教員対象授業力セミナー（大阪医科大学 3月29～30日）

#### ⑥進学指導研修

- ・公務員受験指導セミナー（麻生公務員専門学校 福岡校 4月26日）
- ・大学・高校数学科入試連絡会（福岡工業大学 5月22日）
- ・全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会  
（国立オリンピック記念青少年総合センター・金沢大学 5月23～26日）
- ・ベネッセグローバル研究会「新しい入試につながる英語4技能育成を推進する学校とは」  
（TKP博多前シティーセンター 5月27日）
- ・全国学習塾協会九州沖縄支部2016年研修会（八仙閣本店 5月29日）
- ・これからの学校指導を考える会 ～入試改革への対応～（福岡サンパレス 5月31日）
- ・広島大学・岡山大学入試説明会（アクロス福岡 6月16日）
- ・福岡女子大学説明会（福岡女子大学 6月24日）
- ・平成29年度大学入学者選抜 大学入試センター試験説明協議会（福岡ファッションビル 7月11日）
- ・長崎県高校進学指導研究協議会総会・研修会（九州ホテル 7月12～13日）
- ・個別大学入試の変化にみる高大接続改革研究会（代々木ゼミナール福岡校 7月16日）
- ・進学が「ダンス」「夢ナビライブ」視察会参加（名古屋大学・南山大学等視察 7月20～21日）
- ・四国 国公立8大学視察（8月2日～5日）
- ・リクルート教育フォーラム2016 教育改革にどう備えるか（TKPガーデンシティ博多 8月9日）

- ・教育改革先取り対応セミナー（リーガーロイヤルホテル広島 8月19日）
- ・大学教育を見据えた英語4技能育成研究会（セントラーザ博多 8月31日）
- ・体育系大学入試対策説明会（博多バスターミナル 9月19日）
- ・第1回大学入試研究会（諫早観光ホテル道具屋 10月2日）
- ・立命館アジア太平洋大学キャンパス見学会 大分大学視察（10月17～18日）
- ・福岡県立東筑高校・福岡県立田川高校・日本赤十字九州国際看護大学視察（11月29～30日）
- ・駿台教育研究セミナー（駿台 お茶の水 3月26日）
- ・第39回進路学習セミナー（東洋大学 白山キャンパス 3月27～28日）

#### ⑦ICT活用教育研修

- ・第7回教育ITソリューションEXPO（東京ビッグサイト 5月19～20日）
- ・Microsoft in Classroom セミナー（マイクロソフト九州支店 博多 6月1日）
- ・New Education Expo 2016 in 東京（東京ファッションタウンビル 6月2～4日）
- ・新しい大学入試を見据えて ICT活用はどうあるべきか（早稲田大学 6月19日）
- ・Evernote Business ユーザ会 in 福岡（ヨカラボ天神 7月15日）
- ・私立公立高等学校IT活用セミナー（東京 第一ホテル両国 7月24～25日）
- ・教職員対象研修会（Excel2010 関数活用コース）（KSC 福岡情報専門学校 8月5日）
- ・学校現場で生きる ICT 機器とデジタル教材の整備にむけて（福岡国際会議場 9月1日）
- ・佐賀県 ICT 活用フェスタ（佐賀市文化会館 10月14～15日）
- ・最新のWiFi事情の把握（TKP ガーデンシティ博多アネックス 10月19日）
- ・普通教室整備に向けての教育ICTセミナー（博多 アクスビル 12月2日）
- ・九州 ICT 教育支援協議会 2016（熊本市現代美術館 12月3日）
- ・情報教育対応教員研修セミナー（KCS 福岡情報専門学校 12月26～27日）
- ・第37回教育委員会対象セミナー（天神クリスタルビル 1月25日）
- ・学校における情報セキュリティ及びICT環境整備等に関する研修会  
（富士通株式会社 九州支社 2月27～28日）
- ・教育の情報化推進フォーラム（国立オリンピック記念少年総合センター 3月3～4日）
- ・私立公立高等学校IT活用セミナー（CIVI 研修センター新大阪東 2月24～25日）

#### ⑧教育全般

- ・第1回聴覚障害のある幼児児童生徒の理解と指導研修会（長崎県立ろう学校 6月15日）
- ・第4回西彼杵【学びの共同体】公開授業研究会（西彼杵高校 6月17日）
- ・長崎県高校・特別支援教育研究大会人権教育研究部会（佐世保商業高校 6月23日）
- ・私立学校初任者研修 九州地区研修会（ホテルウェルビューかごしま 7月6～8日）
- ・リクルート教育フォーラム2016 教育改革にどう備えるか（TKP 大阪心斎橋カンファレンスセンター 8月2～3日）
- ・第46回長崎県私学教育研修会（矢太樓 8月3～5日）
- ・2016年度教員研修プログラム（福岡 河合塾 8月5～6日）
- ・教職員著作権講習会（昭和女子大学 8月17～18日）

- ・東京純心・学芸大高校・都立戸山高校 文化祭視察 (9月9日～11日)
- ・著作権セミナー (アクロス福岡 9月16日)
- ・実践力向上講座 (TKP ガーデンシティ PREMIAM 9月24日)
- ・第7回長崎県中堅若手教員勉強会 (長崎大学 12月10日)
- ・第5回手帳甲子園 (イイノホール&カンファレンスセンター 12月16～17日)
- ・キャリア教育推進連携シンポジウム (国立オリンピック記念青少年総合センター 1月17～18日)
- ・第37回教育委員会対象セミナー (天神クリスタルビル 1月25日)
- ・三四郎の学校「探Q」ワークショップ (福岡 みやこ町中央公民館 2月26日)
- ・諫早高校ワールドカフェ見学 (諫早高校 3月4日)

## (5)中高大連携活動

- ①高校Ⅱ年総合コース対象の高大連携授業の実施  
(4/13 4/20 5/11 5/18 6/15 7/6)
- ②高校Ⅱ年文英コース対象の純心大学のネイティブ講師による授業の実施  
(前期 5/13 5/27 6/17 7/8 後期 10/14 10/28 11/11 11/18)
- ③高Ⅲ対象進学説明会 (6月23日 於：江角記念館)
- ④全学年対象オープンキャンパス参加 (7月2日)  
中学 (2人) 高Ⅰ (48人) 高Ⅱ (71人) 高Ⅲ (56人) 計 172人 保護者 25人
- ⑤純心大学教員の高校Ⅱ年生対象 (文・文の3クラス) 授業 … 水曜日 1校時 (4/13～7/6  
6回)
- ⑥「イングリッシュカフェ」… 中学生希望者対象 (7月22～23日)
- ⑦「大学に行こう」… 高校Ⅰ年生対象 40名 (10月7日 10:00～14:00)
- ⑧英語情報学科の授業見学 … 高校Ⅱ年英語コース対象 31名 (10月20日 12:00～15:20)
- ⑨英語情報学科より『英情 Newsletter』(月に1度)をいただき、生徒に配布。

## (6)平和教育

- ①世界平和を願って、聖堂で朝8時からロザリオの祈りをクラスごとに実施 (64年目)
- ②高校Ⅰ年生 被爆体験講話 … 講話者 松本美都恵氏 (長崎平和推進協会) (6月25日)
- ③長崎殉難教え子と教師の像 慰霊式参列 … 中学生徒会 7名参加 (8月3日 平和記念会館)
- ④ 2016 広島ピーススタディに 中学生 2名参加 (広島市内 8月5～6日)
- ⑤本校で行われた、東京都国立市国内交流事業「子ども長崎派遣平和事業」(小学生 16名)に、純心高校生徒会役員が参加し、戦争と平和について意見交換を行った。吹奏楽部と高校合唱部の協力演奏が感動の余韻を残した。(8月8日)
- ⑥被爆 71 周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 (8月9日)
  - ・中学生 3名が出席した。
  - ・放送部員 2名が司会を担当した。
  - ・高Ⅰ、高Ⅱ年 1組と 2組が「千羽鶴」を合唱 (1956年から 60回)
- ⑦長崎原爆純心学徒隊慰霊祭 (校内) に中学生・高校ⅡⅢ年生が参加 (8月9日)
- ⑧第 11 医療隊記念碑 (川平) 清掃奉仕 (11月5日 高校生徒会・ミゼリコルディアクラブ)

- ⑨東京純心女子高校のⅠ年生が、平和学習のために来校した。(10月27日)
- ⑩鹿児島純心女子中学校の1年生が、平和学習のために来校した。(10月28日)
- ⑪世界平和祈念市民大行進における吹奏楽部演奏(平和公園から原爆中心地 10月29日)
- ⑫中学2年生が、沖縄修学旅行で沖縄戦の学びを通して平和の尊さを学習(12月12～14日)
- ⑬高校Ⅲ年生の進路決定者が長崎原爆資料館見学(2月下旬にクラスごと)

## (7)地域貢献

- ①吹奏楽部 クルーズ船出航セレモニーでの演奏(松ヶ枝埠頭ターミナル 5月・10月)
- ②中学ボランティア部 … キャップリサイクル・恵の丘原爆ホームボランティア・純心幼稚園のお手伝い 他。
- ③高校ミゼリコルディア部 … 献血の呼びかけ・あしなが学生募金・声の奉仕マリア文庫ボランティア 他。

## (8)活動部門 表彰

### 【中学生】

- ①日本私立中学高等学校連合会会長賞 3年 永瀬日那
- ②第38回全日本中学生水の作文コンクール  
最優秀賞(長崎県)2年 平川颯絵 優秀賞 2年 寺田梨佳子 3年 草野 碧
- ③第23回おかあさんの詩コンクール NCC賞 3年 佐藤朝希
- ④平成27年度明るい選挙啓発書写コンクール 最優秀特選 1年 田端ゆり 3年 田中美聖
- ⑤税についての作文 長崎県納税貯蓄組合連合会会長賞 3年 永吉優奈
- ⑥土砂災害防止に関する作文コンクール 優秀賞(国土交通事務次官賞)1年 金子智香
- ⑦バスケットボール部
  - ・第45回長崎新聞社杯争奪中学校大会 優勝(2年連続)
  - ・第13回SAGAバルーンカップ中学生大会 優勝
  - ・長崎市中学校総合体育大会 優勝
  - ・長崎県中学校総合体育大会 優勝(九州大会出場)
  - ・第31回コヤナギスポーツ杯 準優勝
  - ・第22回時津長与杯 準優勝
  - ・長崎市中学校総合体育大会新人大会 第3位
  - ・長崎県中学校総合体育大会新人大会 第3位
  - ・第30回全国都道府県対抗ジュニアバスケットボール競技長崎県選抜選手選出 2年 平川颯絵 山口遙菜
- ⑧バレーボール部
  - ・第20回ブルーウェーブカップ中学生女子大会 優勝
  - ・福岡フレッシュカップ 準優勝
  - ・こころ未来高等学校杯中学大会 準優勝
  - ・長崎市中学生プレ新人大会 優勝
  - ・長崎市中学校総合体育大会新人大会 優勝
  - ・別府市会長杯九州中学校冬季バレーボール大会 優勝
  - ・長崎県中学校総合体育大会新人大会 第3位
  - ・長崎地区中学生春季選手権大会 準優勝

- ・長崎県西彼青年の家杯中学生女子大会 第3位
- ・第1回島原クラブ杯女子バレーボール大会 準優勝

#### ⑨体操部

- ・長崎市中学校総合体育大会 団体 準優勝
- ・長崎県中学校総合体育大会 団体 第3位
- ・長崎県中学校総合体育大会新人大会 団体 第3位

#### ⑩コーラス部

- ・平成28年度長崎県中学校文化活動推進校に選出
- ・長崎歴史博物館での「エヴァンゲリオン展 開会式」賛助出演(7月1日)
- ・第71回九州合唱コンクール 長崎県大会 金賞 九州大会 金賞
- ・第83回NHK全国学校音楽コンクール 県大会 銀賞

#### ⑪水泳

- ・長崎市春季大会 50m背泳 第1位(大会新) 100m背泳 第1位(大会新)
- ・長崎市中学校総合体育大会 100m背泳 第1位 200m背泳 第1位 100m自由形 第5位
- ・長崎県中学校総合体育大会 100m背泳 第1位(九州大会出場) 200m背泳 第1位(九州大会出場)
- ・長崎市中学校総合体育大会新人大会 2年の部 50m背泳 第3位 100m背泳 第3位

#### ⑫アーチェリー

- ・第71回国民体育大会強化選手選出 中3 田川鈴菜
- ・ナショナル育成チーム選手に選出 中3 田川鈴菜
- ・長崎市民体育・レクリエーション大会 一般女子の部 優勝
- ・長崎県秋季アーチェリー大会 少年少女の部 準優勝
- ・全九州小中学生アーチェリー大会 中学生の部 第3位
- ・大村市インドアアーチェリー公認大会 中学生の部 優勝
- ・長崎県インドア・アーチェリー大会 キャデットの部 優勝
- ・平成28年度全九州インドア・アーチェリー大会 中学生女子の部 優勝

#### ⑬テコンドー

- ・第27回全九州テコンドー選手権大会 優秀賞

#### 【高校生】

- ①長崎県教育委員会教育長賞 Ⅲ年 脇山莉加
- ②日本私立中学高等学校連合会長賞 Ⅲ年 田川純菜
- ③第71回国民体育大会出場 I年 山崎百華(陸上部)
- ④第12回全国高校生川柳コンクール 銀賞(全校第2位) I年 森内美帆  
『姉帰省 家族みんなの 箸そろう』

#### ⑤バスケットボール部

- ・第39回長崎地区新人大会 第3位

#### ⑥バレーボール部

- ・長崎地区春季選手権大会 第2位
- ・長崎県春季選手権大会 第3位
- ・長崎地区1年生大会 優勝

- ・長崎地区新人大会 優勝
- ・第 69 回全日本高校選手権大会（春高バレー）長崎県予選 第 3 位
- ・諫早市協会長杯 優勝

⑦ソフトテニス部

- ・長崎地区高校春季選手権大会 個人 準優勝・第 3 位・ベスト 8（2 ペア）
- ・クラブ対抗選手権大会 団体 第 3 位
- ・長崎県高校総合体育大会 団体 第 3 位
- ・雲仙カップ九州高校女子大会 団体 準優勝
- ・長崎県高校新人体育大会 団体 第 3 位 個人 ベスト 8（九州大会出場）
- ・長崎県高校団体選抜大会 第 3 位

⑧陸上部

- ・平成 28 年度ジュニアスポーツ事業強化選手に選出 高 I 山崎百華
- ・第 71 回国民体育大会強化指定選手に選出 高 I 山崎百華
- ・第 45 回ながさきリレーカーニバル 4×100mR 第 3 位 走幅跳 第 4 位  
走高跳第 4 位 第 6 位
- ・第 45 回駒場リレーカーニバル 走幅跳 優勝
- ・長崎県陸上競技選手権大会 100m 第 3 位 400mH 第 3 位 走高跳 第 3 位  
4×100mR 第 3 位
- ・長崎県高校総合体育大会 100m 第 5 位 200m 第 5 位 400mH 第 3 位  
走幅跳 第 3 位 4×100mR 第 2 位 4×400mR 第 2 位
- ・北九州地区高校体育大会 走幅跳 第 6 位（インターハイ出場） 4×400mR 第 6 位  
（インターハイ出場）
- ・第 15 回長崎県高校陸上競技選手権大会 4×100mR 第 1 位 100m 第 4 位  
200m 第 4 位 第 5 位 400m 第 5 位  
走幅跳 第 2 位 第 7 位  
走高跳 第 5 位 三段跳 第 5 位
- ・第 71 回国民体育大会陸上競技長崎県予選 走幅跳 第 1 位（国体出場） 100m 第 3 位  
100mH 第 3 位
- ・長崎県高校新人大会 4×100mR 第 2 位 4×400mR 第 2 位  
100m 第 5 位 第 6 位 200m 第 3 位 第 4 位 走幅跳 第 3 位  
三段跳 第 5 位 砲丸投 第 6 位

⑨弓道部

- ・長崎市長・市議長楯争奪弓道大会 団体 優勝
- ・長崎地区高校新人体育大会 団体 3 位
- ・第 57 回長崎県高校新人大会 個人 準優勝（九州大会出場）
- ・第 35 回全国高校選抜大会長崎県予選 団体 優勝（全国大会出場）
- ・第 35 回全国高校選抜大会 団体 第 5 位
- ・第 20 回長崎地区弓道選手権大会 団体 優勝 個人 第 3 位 第 4 位

⑩ハンドボール部

- ・第71回国民体育大会強化指定選手選出 III年 榊 綾華
- ・長崎地区新人体育大会 第3位

⑪空手道部

- ・長崎県高校総合体育大会 第3位 個人組手 第5位 (九州大会出場)
- ・長崎地区新人大会 団体組手 優勝 個人組手 第3位
- ・長崎県高校新人大会 団体組手 準優勝 (九州大会出場) 個人組手 第2位 第3位  
(九州大会出場)

⑫体操部

- ・長崎県高校新人大会 団体 第3位

⑬テコンドー

- ・第9回全日本ジュニア選手権大会西日本地区大会 高校生女子の部 優勝
- ・JOCジュニアオリンピックカップ選手権大会 高校生女子の部 第3位
- ・第27回全九州テコンドー選手権大会 一般女子の部 優勝

⑭バトン

- ・第11回日本バトン協会 長崎県大会 中級ペアの部シニア部門 金賞

⑮音楽部

- ・平成28年度長崎県高等学校文化活動推進校に選出
- ・第71回九州合唱コンクール県大会 金賞 九州大会 金賞 (連続17回金賞) 理事長賞  
(全国大会出場)
- ・2016年度 第69回全日本合唱コンクール全国大会 銅賞
- ・Mother's Day コンサート (5月7日 於:本校聖堂)
- ・ねんりんピック開会式に協力参加 (10月15日)
- ・Christmas コンサート (12月25日 於:本校聖堂 共演:長崎西高校 島原高校)

⑯吹奏楽部

- ・第61回九州吹奏楽コンクール長崎県予選 銀賞
- ・瑞宝太鼓との共演 (9月2日 於:とぎつカナリーホール)
- ・第1回校内アンサンブルコンサート (1月22日 於:聖堂)
- ・第4回吹奏楽部定期演奏会 (3月21日 長崎市市民会館ホール)

⑰演劇部

- ・長崎県高校総合文化祭演劇部門長崎地区大会 最優秀賞
- ・長崎県高校総合文化祭演劇部門長崎県大会 優良賞

⑱写真部

- ・2016年長崎フォトコンテスト 長崎賞 森長賞 長崎本舗カステラ賞
- ・長崎県食品安全・消費生活課「誰かと食べるっておいしいね!楽しいね!」作品  
優秀賞
- ・平成28年度 長崎県高文連写真専門部 第12回高校写真展 高校3年の部  
最優秀賞・優秀賞



## ⑱放送部

- ・第 63 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト県南地区大会  
アナウンス部門 優秀賞 (1 名) 優良賞 (1 名) 朗読部門 優秀賞 (2 名) 優良賞 (1 名)
- ・第 63 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト長崎県大会  
テレビ部門 最優秀賞 ※全国大会出場 (7.26~28) タイトル『私の歩む道』
- ・第 63 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 入選
- ・長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 (8 月 9 日 於: 平和公園) で司会担当 (Ⅲ年 2 名)
- ・第 38 回九州高校放送コンテスト県大会 朗読部門 優良賞

## ⑳美術部

- ・九州高文連総文祭九州大会 絵画 優秀賞 Ⅲ年 則松夏凜
- ・第 1 回枕崎国際芸術展 絵画 協賛賞 Ⅲ年 則松夏凜

## ㉑茶道部

- ・長崎純心大学主催の外国人学生サマースクールで行われた「お茶会」に協力参加。  
(8 月 12 日)

## ㉒書道部

- ・九州高等学校文化連盟 (書道部門) … 本校会場で開催 (6 月 19 日)

## ㉓図書委員会

- ・第 12 回ライブラリーフェスティバル県南地区大会 図書館広報誌コンクール 最優秀賞
- ・第 13 回ライブラリーフェスティバル長崎県大会 図書館広報誌コンクール 優秀賞  
図書館 PR 大賞コンクール 優秀賞

## (9)施設設備

- ①中学校 (1・2 年生) に『e ラーニング教材すらら』を導入
- ②中学校に、教育のための情報環境整備として、iPad (80 台) を導入 (計 160 台となる)
- ③中学 (全生徒)・高校 (希望者)・教職員に、メールシステム『メールメイト』を導入
- ④高校の総合特別コース開設に伴う情報機器の整備として、電子黒板 (1 台)・iPad (8 台) を導入
- ⑤第 1 パソコン室の情報機器 (含 システム) の更新
- ⑥教職員の校務での情報化対応を積極的に推進するために、マイクロソフトサーフェイス (40 台) を導入
- ⑦成績管理システム構築のための準備

## (10)特記事項

- ①熊本地震被災者支援活動
  - ・4 月 20 日 西山中学校の避難生活者に物資 (ラップ・紙皿・紙コップ・缶詰など) 提供支援
  - ・5 月 9~12 日 中高生徒会・中学ボランティア部・ミゼリコルディア部が校内で募金活動
- ②モナコ少年合唱団来崎に際し、学校を代表して交流 (7 月 18 日・19 日)
  - ・全中学生との交流 … 中 3 はグループ交流 中学コーラス部が共演 (於: 浦上教会)
- ③「日本カトリック教育学会 第 40 回全国大会」(9/2 於: 江角記念館) で、佐古照美教諭 (宗教) が「カトリック学校における教育実践」の演題で発表を行い、好評を博した。
- ④『VIEW21』8 月号 (ハネット教育総合研究所) に、槌本六秀教諭 (化学) が「実践 アクティ

ブラーニング」と題して掲載され、多くの反響を呼んだ。

⑤『紀要（第36号）』発行

## 5. 幼保連携型認定こども園長崎純心大学附属純心幼稚園

### (1) 幼稚園の運営

①定員 250名

園児数状況

年齢 (歳児)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	3	5	6	7	7	8	8	9	9	11	11	12
1	12	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13
2	13	14	17	19	20	21	23	25	26	27	28	29
3	70	70	70	70	70	71	70	71	71	71	71	71
4	53	53	52	52	50	52	53	53	53	53	52	52
5	75	75	75	75	74	74	73	73	73	73	73	73
計	226	229	232	235	233	238	239	244	245	248	248	249
入所率	90	92	93	94	93	95	96	98	98	99	99	100

(%)

②職員数 平成28年度当初 52名 常勤20名 非常勤28名 派遣4名

平成28年度末 53名 正職20名 非常勤29名 派遣4名

③職員会議開催状況

毎月1回、こども園としての園長・副園長・主任会を行い、全体のこと次月の教育保育内容、行事の様子や問題点、気づきを出し合い職員会議の企画を作成した。職員会議は、0～3歳児クラスはお昼寝の時間・3～6歳児クラスは終礼前の15時30分から月1回全員参加ができる時間を考慮して開催した。園外研修報告は園内研修で随時行った。その他検討事項が出てきた場合は、その都度話し合いを行い、内容等は会議録に記し全職員に閲覧して職員間の共通理解に努めた。

### (2) 教育・保育目標

「言葉にならない声を聞き取りましょう」を目標に教育保育に努めた。

初代園長のお言葉を生きようと「神様にも、人さまにも喜ばれる人に」を標語にあげ、まずは教職員から笑顔で挨拶、職員一同の連携、祈る心を忘れないことを通して、子どもたち一人ひとりのことばにならない声に耳を傾け、子どもや保護者の心の思いに気づき援助できるよう毎日の教育保育の具体的な示唆としてきた。

### (3) 教育・保育の状況

教育保育時間 8:30～14:30 (延長保育 7:30～8:30 14:30～19:30)

保育短時間 8 : 3 0 ~ 1 6 : 3 0 (延長時間 7 : 3 0 ~ 8 : 3 0 1 6 : 3 0 ~ 1 9 : 3 0)

保育標準時間 7 : 3 0 ~ 1 8 : 3 0 (延長時間 1 8 : 3 0 ~ 1 9 : 3 0)

#### (4)教育・保育内容

- ①一人ひとりを大切にす温かい関わりの合いの中で、神さまの愛と生命の尊さを知り、愛と奉仕のできる子どもの育ちを目指した。
- ②個別と自己活動によって自主・自立を助け、人格の基礎を培うモンテッソーリ教育において、0～6歳児のモンテッソーリ教育を導入し、個別活動の時間を充実させることが出来た。0～3歳のモンテッソーリ教育の充実を図った。
- ③老人ホーム・施設訪問、勤労感謝訪問など地域の方とのふれあいを持った。

#### (5)給食の実施状況

- ①月1回の給食検討会の実施や食育計画の中で年齢に応じた配膳や個別の対応を検討し、アレルギー体質の子どもへの対応は、管理栄養士が保護者との個別面談を実施した。
- ②季節の食材を取り入れ、和食野菜中心の献立を実施。おやつもなるべく手作りのものを提供しよう心掛けた。

#### (6)職員研修

- ①園内研修は毎月行い環境設定や保育内容の見直し、経過記録・個人カルテの見直しを実施した。
- ②園外研修はモンテッソーリ教育や特別支援に関する県や市の主催する研修会に参加し研鑽をつんだ。また、純心聖母会主催で外部講師による宗教教育研修を年3回行い希望する非常勤職員も参加した。

#### (7)小学校連携

- ①西浦上・聖マリア・精道小学校との交流事業に参加。小学校の雰囲気を知ることで幼稚園からの移行がスムーズになり、不安を持っていた子どもたちも交流を通して入学への期待も膨らんできた。

#### (8)長崎純心大学との連携

- ①児童保育学科の本田先生の指導をいただき年長児が卒園記念作品を泥粘土活動で制作した。その後は、聖堂でお祈りを捧げて学長先生からお話もいただき大学の雰囲気を楽しんだ。
- ②絵画活動は年間を通して児童保育学科の塩月先生から3～6歳の園児が設定保育の指導をいただきその中で具体的な保育教諭の環境設定・指導・観察の指導を頂いた。
- ③幼稚園・保育園実習生の受入、またモンテッソーリ教師養成コース実習受け入れて実習指導に当たった。

#### (9)純心聖母会との連携

- ①毎月2回純心聖母会主催の聖書勉強会に職員が自由に参加。
- ②保護者の聖書勉強会(カンターボ)も毎月テーマを決めて呼び掛けたところ数名の保護者が年間継続して参加。

#### (10)苦情解決第三者委員

苦情解決責任者：園長 池田 洋子  
苦情解決受付：副園長 田作 麻衣子

第三者委員 : 岩永 真智子・武藤 三千代・中村 メリ

※ 苦情受付件数は 年間を通して 2 件あり解決責任者が対応。

## (11)健康管理の実施状況

### 1)児童

#### ①小児科

年 2 回 (5 月、11 月) 園囑託医による健康診断を実施した。

#### ②歯 科

年 2 回 (6 月、1 月) 園囑託歯科医による歯科検診を実施した。

#### ③尿検査 (3 歳以上) を 5 月に実施した。

季節に応じて、健康管理、感染症などの注意を促した。感染症流行の兆しがある場合等はアプリ毎週金曜日に欠席状況と合わせて随時お伝えした。また、換気及び空気清浄機を活用して感染の拡大を最小限にとどめるよう努めた。

#### ④毎月、身体測定を行った。

### 2)職員

#### ①定期健康診断

年 1 回、西九州健康診断本部診療所による健康診断を全職員に実施した。

#### ②検便

月 1 回、専門業社に依頼し、「赤痢・サルモネラ菌」「病原性大腸菌 (O-157)」の検査を責任者と給食職は毎月実施。年間通して全職員も年に 3 回は実施した。

## (12)設備整備

固定資産物品 (10 万円以上 )

- ・ 2 階 : 絵画室空調入替工事 11/23
- ・ 1 階 : 旧保育室 2 階保育室 3 階保護者会室 1/25. 1/28

## (13)修繕及び補修

- ・ 1 階 : 幼児用トイレ換気扇取り換え工事 5/27
- ・ 2 階 : さくらんぼトイレタイル補修工事 7/7. 21
- ・ 1 階職員室扇風機設置工事 8/22
- ・ 園庭 : くまっこハウス廃棄 12/21
- ・ 2 階 : 園児用トイレ修理 3/17

## 平成 28 年度 行事

4 月	7 始園式 9 入園式 14 歓迎遠足 19 クラス懇談会 26. 27 年長組園外保育 ※避難訓練 (毎月)
5 月	9-10 視力聴力検査 11. 12 内科検診 (1 回目) 25 4・5 月生誕会 14 ファミリーデー ※
6 月	3 年長組芋苗植え 9 英語教室参観日 15 歯科検診 (1 回目) 29 交通安全指導 ※

7月	6七夕かざり 13すいか割り 4.6.7月生誕生会 15終園式 ※
8月	26-31 夏期保育 ※
9月	1始園式 10運動会 21.8・9月生誕生会 ※
10月	8入園説明会 14お泊り保育 11交通安全指導 19お店屋さんごっこ 31聖母行列 24-28年長児個人面談 ※
11月	10お芋掘り 8.10・11月生誕生会 17勤労感謝訪問 14七五三お祝い会 15.16内科検診(2回目) ※
12月	10クリスマス会 14.12・1月生誕生会 15クリスマスパーティー 16終園式 17入園面接(1号) ※
1月	10始園式 18歯科検診(2回目) 14導入保育(1回目) 25人形劇 31～年中・年少・0-3歳児面談 ※
2月	6. 2・3月生誕生会 9交通安全教室 18導入保育(2回目) 2豆まき 8. 2 6 聖人巡礼 入園面接(2. 3号随時) ※
3月	1お別れ遠足 2卒園感謝ミサ 4入園説明会(1. 2. 3号) 7お別れ会 11卒園式 17終園式 18導入保育(3回目) ※

### 避難訓練

月 日	訓練内容	災害発生場所	避難場所
4/27 (水)	非常ベルを知る ・避難経路の確認	給食室	園庭
5/23 (月)	火災・消火訓練	ほっともっと	園庭(雲梯前)
6/29 (水)	水害・消火訓練	浦上川	2Fホール・・・3-6歳児 ホリコーナ・・・0-3歳児
7/25 (月)	地震による火災 消火訓練	給食室	机の下・園庭
8/25 (木)	水害・消火訓練	浦上川氾濫	2階教室・3F サンタマリアホール
9/26 (月)	火災・消火訓練	乳児室	園庭(雲梯前)
10/24 (月)	地震による火災	給食室	机の下→園庭

11/21 (月)	火災・消火訓練	給食室	園庭 (砂場前)
12/20 (水)	不審者対応 火災訓練	玄関	各クラス
1/26 (木)	火災 消火訓練	ボイラー室	ほし組裏口さくら組側 園庭ばら組前
2/15 (水)	北消防署と合同訓練 通報訓練・消火訓練	1階 調乳室	園庭 (マリア様前)
3/15 (水)	火災・消火訓練	1階 給食室	ほし組裏口さくら組側 園庭ばら組前

純心幼稚園 平成 28 年度 職務分掌

職務	業務内容	職務に係わる役割
総括責任者 園長	運営管理総括 防火・衛生管理 会計管理 苦情解決責任	各職員への人員配置及び役割指示。 各法令の遵守状況監視 各担当の業務遂行の状況の把握と教育 苦情解決責任
副総括責任者 副園長	園長補佐 教育全般責任 幼小連絡責任 教育課程責任 保護者会担当 苦情受付担当	見学・入園相談窓口 各クラスの教育・保育の状況の把握 小学校との連絡・接続の把握と研究 教育課程作成 保護者会との相談 保護者の相談窓口
主任 (2)	職員勤務管理 子育て支援 行事責任者 教材物品責任 特別支援責任 実習担当 バスコース担当	職員のシフトの作成 子育て支援計画の作成 企画書の作成管理 教材物品管理及び発注 個別支援計画の作成と管理 実習生の受入と養成校との連携 バスコース編成作業・バス停確認作業

職務	業務内容	職務に係わる役割
にじ 0歳児 クラス担任(1)	保育記録 保育室衛生管理	年間計画・月案・週案・個人記録 掃除・照明・換気・保育用品の消毒
ほし 1才児 クラス担任(2)	保育記録 保育室衛生管理 教材管理 医務管理	年間計画・月案・週案・個人記録 掃除・照明・換気・保育用品の消毒 教材室管理 医務用品管理・購入責任
そら 2歳児 クラス担任(2)	保育記録 保育室衛生管理 安全点検 中期目標計画責任 学園広報責任 園内倉庫管理	年間計画・月案・週案・個人記録 掃除・照明・換気・保育用品の消毒 園庭及び遊具管理 平成30年度までの計画作成 園内外研修計画作成 学園広報原稿依頼窓口 各倉庫の整理・整頓・在庫管理
3.4.5歳児 クラス担任(7)	保育記録 保育室衛生管理 体育道具管理 中期目標計画責任 HP更新担当 ゴミステーション責任	年間計画・月案・週案・個人記録 掃除・照明・換気・保育用品の消毒 体育道具点検・管理 平成30年度までの計画作成 園内外研修計画作成 ブログ・お知らせ・変更作業 ゴミステーション管理(掃除計画)
事務職員	事務全般責任 受付・電話窓口業務 保育用品・制服管理 保育料管理 県・市の書類管理 施設給付費請求 預かり保育事務処理 シフト集計	全園児名簿・職員名簿・台帳管理 受付対応・電話対応・来客接待 保育用品・制服注文受付・発注 負担金・バス維持費・給食費・預かり 保育費 書類の整理と管理 施設給付請求と確認 預かり保育事務処理と報告 非常勤職員の勤務計算

職務	業務内容	職務に係わる役割
管理栄養士	栄養管理 アレルギー対応 環境・衛生管理	献立作成・アレルギー献立作成・保護者対応 給食材料おやつの発注と集計 検食・配膳作業 調理及び環境管理・火元責任
調理師	調理全般の管理 環境・衛生管理	給食材料検品検収 検便書類管理 調理及び環境管理・火元責任 アレルギー食担当
司書	図書館管理	図書管理（冊数の管理） 図書の貸出 子育て支援補助 図書館通信発行 図書館に関する実績と報告
子育て支援センター	子育て支援責任 子育て相談	子育て支援事業計画作成・報告 バンビ組・てんし組・さくらんぼ組 親子体操・リトミック・ベビーマッサージ 他 育児相談の個別連絡
預かり保育 ピースタイム	一時預かり責任	ピースタイムの計画作成 ピースタイムの保育室の衛生管理 掃除・照明・換気・保育用品の消毒 ピースタイム教材準備

6. 聖心幼稚園 平成28年5月1日現在 定員 110名 利用定員 35名 在籍数 31名

(1)教育

モンテッソーリ教育を柱として、環境整備を充実させ、精神的・身体的バランスのとれた成長を目指し、3月の閉園に向けた今年は、本物に出会う機会を多く計画し、「イエス様のように子どもに仕える」ことを目標として、人格形成の基礎を培うことをめざした。文化面では情操的経験として生の演奏を聴く機会を持った。クリスマス会に琴アンサンブルオーブの会によるクリスマスソングメドレーの演奏を実施。例年聖劇は年長児だけでおこなっ



ていたのを、今年は、年長児、年中児、年少児、年少少児の全員で取り組みアットホームな出来栄で参加者にも非常に喜ばれた。食育として芋の苗植えから収穫まで信徒の方の全面的な協力を受けて実施できた。大きな芋を掘りあげた喜びと掘った芋を家庭に持ち帰り様々な料理に変身した話題で幼稚園もホットな話題で賑やかでした。今年は、発泡スチロールを使って田植えの経験ができた。稲が成長してお米ができる過程を初めて見た子どもたちは稲穂の先にできる粒々がお米であることに感動していた。収穫は少量でしたが手の平のお米に大きな喜びが見られた。パプリカ、きゅうり、小松菜、いちご等 狭い花壇はさらに所狭し、ダンゴムシとともに、子どもたちの探検と会話が弾む場所となった。音楽の1年間の取り組みとして2月にミニコンサートを開催した。ピアノ、打楽器の演奏に加え、歌・手話ソングを披露した。テレビ佐世保の取材があり、1時間の番組として特別放送された。

## (2)行事

今年も始園・終園の集いを聖堂にて祈りのうちに過ごすことを大切にした。母の日の集い、二か月に一度の誕生会、聖母祭、七五三の祝福、卒園式は中村神父様にお話をお願いして共に祈ることができた。特に卒園式に、お祝いの言葉に加えて、神様の祝福をいただき、18名が卒園出来たことは大きな喜びであった。

お泊り保育は昨年に続き、幼稚園で実施した。朝7時のごミサに全員で参加し中村神父様の祝福をいただき、信徒の方々と一緒にラジオ体操をした。烏帽子の山頂から佐世保の街を一望して自分たちの故郷を改めて意識した。海きららでは魚やくらげと出会い卒園児の下村脩氏が発見したくらげを興味深く観察した。イルカシヨウも楽しんだ。夜は花火に興じ楽しい思い出とともに他では味わうことの出来ない友達との貴重な体験をすることができた。

運動会は多くの方の協力と参加のうちに例年にない盛り上がりを見た。特に三浦町教会の方の賛助出演は暖かく楽しいプログラムとなった。最後に参加者全員でメッセージを付けた150個のバルーンを青空に飛ばし思い出深い運動会となった。

クリスマス会は最後になるので幼稚園ホールで行い教会関係の方、小学生など自由に参加協力していただいた。今年は聖劇を全園児で取り組み発達段階を考慮して仕上げた。そのために園内研修をたびたび持ち、ひとり一人が喜んで参加できる聖劇を目指した。結果として職員心の一致と子供たちの生き生きとした表現は会場の人に感動をあたえた。新しいプログラムとして聖劇の後に琴の演奏があり会場を盛り上げた。幼稚園閉園に向けて、佐世保東翔高校吹奏楽部の定期演奏会の前日祭の中で3月18日(土)午後1:15~1:45に聖心幼稚園閉園セレニーを実施。広く卒園生、地域の人、関係者に声掛けして参加していただいた。3月20日(月)感謝ミサに続いて閉園式を行い、レオプラザホテルで感謝の宴をもって閉園の行事を終えた。

## (3)保・幼・小連携事業

地域の保育園・幼稚園・小学校で年に数回、会議及び交流を行った。年長組が小学校へ行き、6年生との楽しい交流を予定していたが、インフルエンザの影響でできなかった。佐世保市の保・幼・小の研究発表会に職員3名が参加して、連携の在り方、課題、今後の取り組みなどを知ることができた。3月に卒園して小学校へ入学した新一年生と新しい幼稚園に転園した子どもたちとの交流会を持つことを計画している。

#### (4)職員の研修

##### ①園内研修

第4土曜日、職員の資質向上と教育内容を充実させるため研修の伝達講習、支援の必要な子どもへの関わり、など、職員が連携して取り組むための勉強会とした。

発達段階に即した教育・保育の在り方を常に見直すことと観察力を深めるための内部研修を行った。

##### ②園外研修

モンテッソーリ研修会、カトリック教師研修会、長崎県・佐世保市私立幼稚園教師研修会、障害児研修会、特別支援関連の研修会、保幼小連携研修会に参加した。

#### (5)施設・設備及び修理

※事務室ドアノブの取り換え。

※園舎西側の市道が階段からスロープになるために 地下室の入り口が民家側に移動した。荷物の車が直接入り口まで入るので搬入がとても楽になった。

#### (6)実習及び体験学習

体験学習 祇園中学校2年生(4名) 10/31・11/1・11/2の3日間

#### (7)その他

①平成28年6月2日(木) テレビ佐世保 芋苗植えを撮影収録して放映された。

②フッソ洗口を毎日、4・5才児が実施した。希望者は3歳児も実施している。

平成17年～平成26年まで連続 佐世保医師会より良い歯の優秀賞を受賞。

平成28年度も優秀賞をいただいた。

③佐世保四ヶ町アーケードと JR 佐世保駅に今年も全員で七夕飾りをした。

④閉園に向けた記念誌を発行。尚 3月18日(土)アルカス佐世保にて閉園セレモニー

3月20日(月)カトリック三浦町教会にて閉園感謝ミサ並びに閉園式。レオプラザホテルにて感謝の宴を実施

⑤平成29年2月26日(日)午後8時～午後9時の一時間、幼稚園のミニコンサートがテレビ佐世保で放映された。

⑥アルバム渡しを計画している。卒園・転園した子ども達と保護者がもう一度、幼稚園に集い近況の分かち合いをするため、5月27日(土)聖心幼稚園の最後の集いを行う。

### 【Ⅲ】財務の概要

#### ■平成28年度決算の概要

純心女子学園の平成28年度財務の概要についてご報告させていただきます。  
本学園は平成28年度の計算書類について、平成29年5月末日に文部科学省に提出しております。  
提出までの経緯は以下のとおりです。

- ①平成28年度事業計画及び予算に従い執行し、日々の諸活動を計数化
- ②公認会計士による年間30日間の実地調査及び書類調査（平成29年5月18日報告書受理）
- ③公認会計士と本学園監事との意見交換等による連携
- ④本学園監事による計算書及び財務状況の監査実施

#### 平成28年度決算の特徴

- ①継続事業である建物耐震化工事として、大学体育館棟の耐震工事実施。
- ②平成29年3月聖心幼稚園の閉園による財産の処分。
- ③創立100周年に向けて「純心マッチ基金」寄付事業を開始。

以上が平成28年度の主な特徴であり、収支状況に影響を与えることとなりました。

#### 1) 資金収支計算書

資金収支計算書は年間を通しての資金の出入を表すとともに、資金の顛末を明確にするものです。  
平成28年度諸活動の資金収入規模は、繰越金を除き約26億8千万円（前年度比約3億9千万円減額）  
予算比約1億2千万円の減額となりました。  
支出規模は、繰越金を除き約26億3千万円（前年度比約4億9千万円減額）予算に対し、予備費込みの  
2億5千万円の減額となりました。  
よって、翌度繰越支払資金は約9億1千万円（前年度繰越支払資金比約6千百万円増額）となりました。

#### ○資金収入の部

資金収入の主な項目は、学生生徒等納付金・手数料・寄付金・補助金・受取利息・配当金等です。

#### 学生生徒等納付金収入

総額約15億1千万円となり、前年度比約4千8百万円減額となりました。  
その基礎数は大学（大学院前・後期含む。）1,134名 高校628名  
中学202名 幼稚園（2カ園）257名の総数2,221名（前年度比101名減）です。

#### 寄付金収入

寄付金収入は、約9百万円となりました。  
特に平成28年度から、創立100周年に向けて「純心マッチ基金」を開始いたしました。  
「純心マッチ基金」では、116名 約3百万円のご寄付をいただいております。  
貴重なご寄付をいただき、誠に感謝申し上げます。

(円)

基金名	寄付数	金額
純心マッチ基金	116	3,464,000
奨学金基金	2	131,000
教育経費・設備	9	3,299,923
施設設備	5	2,486,000
一般	1	5,000
合計	133	9,385,923

## 補助金収入

補助金は、納付金に次ぐ第二の財源となっています。学園全体の補助金内容は、国庫補助金、地方公共団体補助金等を合わせて総額約8億1千万円、前年度比約5千7百万円減額となりました。

平成28年度も大学が取り組んだ「私立大学等経営強化集中支援事業」と「私立大学等改革総合支援事業」に採択され「私立大学等改革総合支援事業」への取組・強化については、4タイプのうちタイプ①とタイプ②に申請して採択されました。

- ①タイプ1：教育の質的転換(採択)
- ②タイプ2：地域発展(採択)
- ③タイプ3：産業界・他大学等との連携
- ④タイプ4：グローバル化

今後も引き続き、改革の手を緩めることなく推進してまいります。

## 受取利息・配当金収入

受取利息・配当金収入は、金利水準が低位に推移しております影響を受けて約6千万円、前年度比約3千万円減額となりました。

## ○資金支出の部

資金支出の主な項目は、人件費・教育研究経費・管理経費・施設設備関係・資産運用等です。

## 人件費支出

退職金支出を含む教職員人件費支出は約15億5千万円で前年度比約2億円の減額となりました。対象教職員数(非常勤含む。)は延467名。うち、退職金支出は約5千万円で退職者数減により前年度比約1億3千万円の減額となりました。

専任教職員数は前年比9名減少しております。また、退職者数は19名でした。

## 教育研究経費・管理経費

教育研究経費・管理経費は、約4億8千万円で前年度比約6千万円の減額となりました。

前年度は、大学学生寮の耐震化建替えのための取壊しや創立80周年記念行事が行われており、減額の要因となっております。

## 施設設備関係支出

施設設備関係支出は、約2億6千万円で前年度比約1億4千万円の減額となりました。

前年度は、大学学生寮の建替え工事等があったことによるものです。大学学生寮は、収容人数33名ですが、ほぼ満室となりました。

特に、耐震化工事は継続的に事業実施しており、平成27年度は大学学生寮建替え、平成28年度は大学体育館棟の耐震補強工事を実施しました。

## 資産運用支出

資産運用支出は主に引当資産積立です。基本金計画に基づき第2号基本金引当特定資産へ6千5百万円、第3号基本金引当特定資産へ約4百万円繰り入れました。

また、平成28年度減価償却額発生分約1億9千万円を減価償却引当特定資産として繰り入れ将来の再取得に備えました。

## 2) 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書は、資金の調達と使用の内容を明確にすることを目的とし、企業会計のキャッシュフローに相当するものです。1) で説明した資金収支計算と取引内容及び費目・金額ともすべて同じものを目的により区分計上したものです。

①教育活動 ②施設設備等活動 ③その他の活動に区分し、学校法人の資金体質がわかるようになりました。特に①の教育活動は、学校の本業の収支のため原則プラスが大前提ですが、本学は約3億4千万円のプラスとなりました。このプラスを財源として②の施設設備等活動が可能となります。

## 3) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、平成27年度会計基準改正により従来の消費収支計算書が書式変更されております。

教育活動の収支を表します教育活動収支差額は約8千万円で前年比約1千万円の増額となりました。教育活動外の収支を加味しました経常収支差額は約1億4千万円、前年度比約2千万円の減額となりました。

そして、最終的な当年度収支差額は約7百万円、前年度比約1千2百万円の減額となりました。

#### 4) 貸借対照表

「貸借対照表」は、平成28年度末日における学園の財政状態と資産の構成を明らかにする財産一覧で、長期的な運営の方向性を決める判断材料となります。また、資産負債のバランスの状況を把握をすることができます。

総資産は約139億円、前年度比約1億2千万円の増額となっております。

負債は8億2千万円で、借入金返済及び未払金の返済など全項目において減少し前年度比1億1千万円の減額となりました。

純資産の部の合計は約131億円で、前年度比約2億2千万円の増額となりました。

よって、資産の94%は自己資金となっており健全性は確保されております。

なお、貸借対照表の取引基準等については、財務諸表に注記として添付いたしました。

(参照：基本金に関する説明)

基本金とは、学校法人が、教育研究活動を行うために必要な資産（校地、校舎、機器備品、図書、現金・預金等）を継続的に保持するために維持すべきものとして、授業料などの負債性のない収入（基本金組入前当年度収支差額）のうちから組入れた金額です。

基本金の種類

- ①第1号基本金 … 設立当初及び新たな学校の設置若しくは、既設の学校の規模の拡大や教育の充実向上のために取得した固定資産の額
- ②第2号基本金 … 将来取得する固定資産に充てるために、事前に計画的、段階的に積み立てる金銭その他の資産の額
- ③第3号基本金 … 奨学基金、研究基金など継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額
- ④第4号基本金 … 恒常的に保持すべき資金として、不測の事態に備える所定の運転資金

## A. 資金収支計算書

資金収支計算書  
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,529,929	1,513,233	16,696
手数料収入	21,780	19,785	1,995
寄付金収入	7,786	9,386	△1,600
補助金収入	761,930	805,762	△43,832
国庫補助金収入	304,827	344,817	△39,990
地方公共団体補助金収入	333,561	327,673	5,888
施設型給付費収入	123,542	133,272	△9,730
資産売却収入	100,000	2,592	97,408
付随事業・収益事業収入	2,700	5,487	△2,787
受取利息・配当金収入	71,700	61,962	9,738
雑収入	71,034	72,926	△1,893
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	196,980	146,008	50,973
その他の収入	397,912	403,303	△5,391
資金収入調整勘定	△360,455	△356,115	△4,340
前年度繰越支払資金	854,380	854,380	
収入の部合計	3,655,675	3,538,710	116,966
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,563,649	1,545,656	17,993
教育研究経費支出	477,030	391,593	85,437
管理経費支出	110,675	86,563	24,112
借入金等利息支出	437	416	21
借入金等返済支出	28,687	28,687	0
施設関係支出	186,512	183,816	2,696
設備関係支出	78,444	74,982	3,462
資産運用支出	360,400	262,619	97,781
その他の支出	74,239	70,986	3,253
〔予備費〕	19,397		19,397
資金支出調整勘定	△21,773	△20,168	△1,605
翌年度繰越支払資金	777,978	913,561	△135,582
支出の部合計	3,655,675	3,538,710	116,966

B. 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書  
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 千円)

		科 目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,513,233
		手数料収入	19,785
		特別寄付金収入	6,895
		一般寄付金収入	5
		経常費等補助金収入	707,315
		付随事業収入	5,487
		雑収入	72,926
		教育活動資金収入計	2,325,646
	支出	人件費支出	1,545,656
		教育研究経費支出	391,593
		管理経費支出	86,563
		教育活動資金支出計	2,023,811
		差引	301,835
		調整勘定等	43,151
	教育活動資金収支差額	344,987	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額
	収入	施設設備寄付金収入	2,486
		施設設備補助金収入	98,447
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	92,294
		施設整備等活動資金収入計	193,227
	支出	施設関係支出	183,816
		設備関係支出	74,982
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	65,000
		減価償却引当特定資産繰入支出	193,400
		施設整備等活動資金支出計	517,198
		差引	△ 323,971
		調整勘定等	7,945
		施設整備等活動資金収支差額	△ 316,025
		小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	28,961
その他の活動による資金収支	科 目		金額
	収入	有価証券売却収入	2,592
		預り金受入収入	39,498
		仮払金回収収入	1,909
		小計	44,000
		受取利息・配当金収入	61,962
		その他の活動資金収入計	105,962
	支出	借入金等返済支出	28,687
		第3号基本金引当特定資産繰入支出	4,219
		預り金支払支出	40,830
		仮払金支払支出	1,590
		小計	75,326
		借入金等利息支出	416
		その他の活動資金支出計	75,742
	差引	30,220	
	調整勘定等		
	その他の活動資金収支差額	30,220	
	支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)	59,181	
	前年度繰越支払資金	854,380	
	翌年度繰越支払資金	913,561	

C. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書  
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位 千円)

		予 算	決 算	差 異
教育活動収入の部	科 目			
	学生生徒等納付金	1,529,929	1,513,233	16,696
	手数料	21,780	19,785	1,995
	寄付金	8,136	6,900	1,236
	経常費等補助金	663,483	707,315	△43,832
	国庫補助金	206,380	246,370	△39,990
	地方公共団体補助金	333,561	327,673	5,888
	施設型給付費	123,542	133,272	△9,730
	付随事業収入	2,700	5,487	△2,787
	雑収入	41,134	45,497	△4,363
教育活動収入計	2,267,162	2,298,217	△31,055	
教育活動支出の部	科 目			
	人件費	1,541,649	1,517,254	24,395
	教育研究経費	673,452	588,008	85,444
	管理経費	137,249	113,447	23,802
	徴収不能額等			
教育活動支出計	2,352,350	2,218,709	133,641	
教育活動収支差額	△85,189	79,508	△164,697	
教育活動外収入の部	科 目			
	受取利息・配当金	71,700	61,972	9,728
	その他の教育活動外収入			
	教育活動外収入計	71,700	61,972	9,728
	教育活動外支出の部	科 目		
借入金等利息		437	416	21
その他の教育活動外支出				
教育活動外支出計		437	416	21
教育活動外収支差額		71,263	61,555	9,708
経常収支差額	△13,926	141,063	△154,989	
特別収入の部	科 目			
	資産売却差額	500		500
	その他の特別収入	98,447	103,147	△4,700
	特別収入計	98,947	103,147	△4,200
	特別支出の部	科 目		
資産処分差額		19,983	19,983	
その他の特別支出				
特別支出計		19,983	19,983	
特別収支差額	78,964	83,164	△4,200	
[予備費]	21,628		21,628	
基本金組入前当年度収支差額	43,411	224,227	△180,817	
基本金組入額合計	△249,564	△216,792	△32,772	
当年度収支差額	△206,154	7,436	△213,589	
前年度繰越収支差額	1,150,923	1,150,923		
基本金取崩額		4,000	△4,000	
翌年度繰越収支差額	944,769	1,162,358	△217,589	
(参考)				
事業活動収入計	2,437,809	2,463,336	△25,527	
事業活動支出計	2,394,398	2,239,108	155,290	



D. 貸借対照表

貸借対照表  
平成29年 3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	12,862,630	12,677,151	185,479
有形固定資産	6,842,535	6,824,799	17,736
特定資産	5,535,764	5,365,430	170,334
その他の固定資産	484,330	486,922	△2,592
流動資産	1,070,870	1,140,030	△69,159
資産の部合計	13,933,500	13,817,181	116,320
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	587,623	617,282	△29,659
流動負債	230,403	308,651	△78,249
負債の部合計	818,025	925,933	△107,908
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	11,953,117	11,740,325	212,792
第1号基本金	10,445,095	10,205,237	239,857
第2号基本金	798,706	826,000	△27,294
第3号基本金	533,316	529,088	4,228
第4号基本金	176,000	180,000	△4,000
繰越収支差額	1,162,358	1,150,923	11,436
純資産の部合計	13,115,475	12,891,248	224,227
負債及び純資産の部合計	13,933,500	13,817,181	116,320

## E. 財産目録

財 産 目 録 (平成29年3月31日現在)

I 資産総額	13,933,500 千円
内 基本財産	6,842,535 千円
運用財産	7,090,965 千円
II 負債総額	818,025 千円
III 正味財産	13,115,475 千円

(単位 千円)

区 分	金 額
資 産 額	
1. 基 本 財 産	6,842,535
土 地	115,990.99 m <sup>2</sup> 517,055
建 物	50,359.69 m <sup>2</sup> 4,961,402
図 書	322,814 冊 1,092,976
教具、校具、備品	3,318 点 202,661
そ の 他	152 基 68,442
2. 運 用 財 産	7,090,965
預 金 ・ 現 金	913,561
そ の 他	6,177,404
資 産 総 額	13,933,500
負 債 額	
1. 固 定 負 債	587,623
長 期 借 入 金	173,825
退 職 給 与 引 当 金	413,798
2. 流 動 負 債	230,403
短 期 借 入 金	28,687
そ の 他	201,716
負 債 総 額	818,025
正味財産 (資産総額-負債総額)	13,115,475

(注記)

1. 重要な会計方針

引当金の計上基準

徴収不能引当金 未収入金の徴収不能に備えるため、未収発生会計年度末から3年経過した日の属する会計年度末に実績に応じ個別に計上する。

退職給与引当金 大 学 期末要支給額 554,876,889円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累計額と交付金の累計額との繰入調整額を加減した金額を計上している。  
 高校以下 期末要支給額 368,031,786円から長崎県私立学校退職金財団よりの交付金相当額を控除した100%を計上している。

その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的有価証券の評価基準は償却原価法である。

有価証券の評価基準及び評価方法は移動平均法に基づく原価法である。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法に基づく原価法である。

所有権移転外ファイナンス・リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

預り金に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は相殺して表示している。

学生食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法

補助活動に係る収支は半純額表示であり、総額表示科目は人件費、施設・設備費、借入金 純額表示科目は補助活動収入及び経費関係である。

2. 重要な会計方針の変更等 なし
3. 減価償却額の累計額の合計額 3,803,245,077 円
4. 徴収不能引当金の合計額 0 円
5. 担保に供されている資産の種類および額  
 担保に供されている資産の種類および額は、次のとおりである。  
 土 地 23,166,780 円
6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金の組入れを行うこととなる 202,511,500 円
7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策  
 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するための必要な事項

(1)有価証券の時価情報

①総括表

(単位 円)

種 類	当 年 度 (平成29年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	936,720,211	1,007,825,600	71,105,389
(うち満期保有目的の債券)	(849,858,811)	(893,423,500)	(43,564,689)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,584,966,799	1,423,217,823	△ 161,748,976
(うち満期保有目的の債券)	(1,097,760,000)	(999,560,445)	(△98,199,555)
合 計	2,521,687,010	2,431,043,423	△ 90,643,587
(うち満期保有目的の債券)	(1,947,618,811)	(1,892,983,945)	(△54,634,866)

②明細表

(単位 円)

種 類	当 年 度 (平成29年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	1,947,618,811	1,892,983,945	△ 54,634,866
株式	86,861,400	114,402,100	27,540,700
投資信託	487,206,799	423,657,378	△ 63,549,421
貸付信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	2,521,687,010	2,431,043,423	△ 90,643,587
時価のない有価証券	0		
有価証券合計	2,521,687,010		

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンスリースは次のとおりである。

平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
車 両	2,677,500	44,625
合 計	2,677,500	44,625

(3) 純額及び総額で表示した補助活動に係る収支

純額で表示した補助活動に係る収支の相殺した科目及び金額は次のとおりである。

支 出	金 額	収 入	金 額
管理経費支出	48,207,637	補助活動収入	52,911,250
計	48,207,637	計	52,911,250
純 額			4,703,613

平成 29 年 5 月 8 日

学校法人純心女子学園  
理事長 片岡 千鶴子 様

学校法人純心女子学園  
監事  
監事



## 監 事 報 告 書

私たち監事は、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人純心女子学園寄附行為第 7 条第 2 項に基づき平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの平成 28 年度における学校法人の財務書類（財産目録、貸借対照表（附属明細表を含む。））並びに資金収支計算書（資金収支内訳表・人件費支出内訳表・活動区分資金収支計算書を含む。）及び事業活動収支計算書（事業活動収支内訳表を含む。）を含め、学校法人の業務及び財産の状況に関し監査を行った結果、次のとおり報告します。

### 記

#### 1. 監査の方法

- (1) 業務監査については、理事会に出席し、学校法人の業務執行状況等の適法性及び妥当性を検討しました。さらに、第 3 期中期目標・中期計画の平成 28 年度実施状況の検証を行いました。
- (2) 財務監査については、公認会計士の監査と並行して実施しました。

#### 2. 監査報告

- (1) 学校法人の業務の執行に関しては、適正であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実がないことを確認しました。
- (2) 財産目録、貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、会計諸帳簿の記載金額と合致し、記帳、計算ともに正確適切に行われている。また、法令及び寄附行為に従い、学校法人の財産の状況及び収支の状況が適正であることを認めました。さらに、学生・生徒の減少にも拘らず、事業活動収支の当該年度収支差額において収支の改善がなされたのは学校法人の努力の結果であることを認めます。
- (3) 第 3 期中期目標・中期計画について、平成 28 年度の実施状況は、概ね進捗している。今後の若年人口の減少に伴う経営環境の悪化に対応するためには、数値化になじむ事項である学生の定員、教職員の定数等を年度毎に数値化し、進捗状況を管理するよう検討してください。

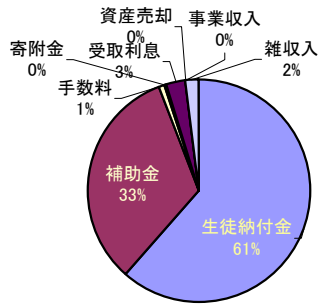
また、平成 29 年度入学した学生・生徒数を勘案するに事業活動において、事業活動収支の均等を図るべく、更に努力を要します。

G. 財務データ

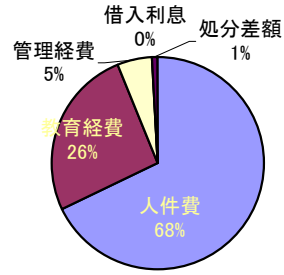
① 事業活動収支関係

ア) 28年度構成比率(法人)

事業活動収入構成比率

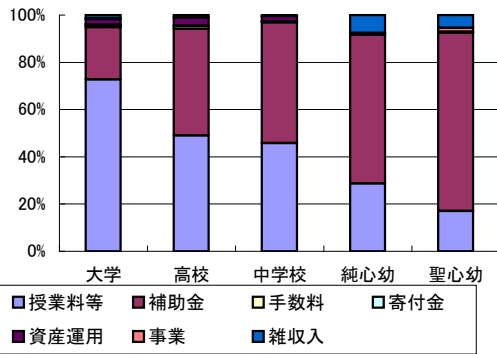


事業活動支出構成比率

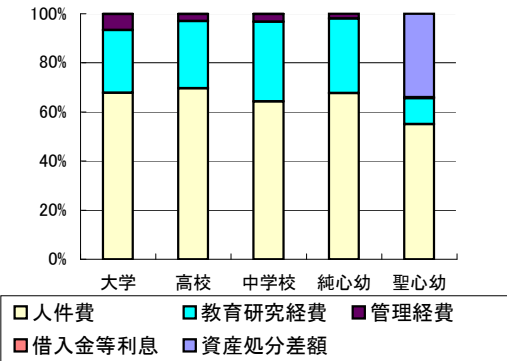


イ) 28年度事業活動収入構成比率(部門別)

事業活動収入構成比率

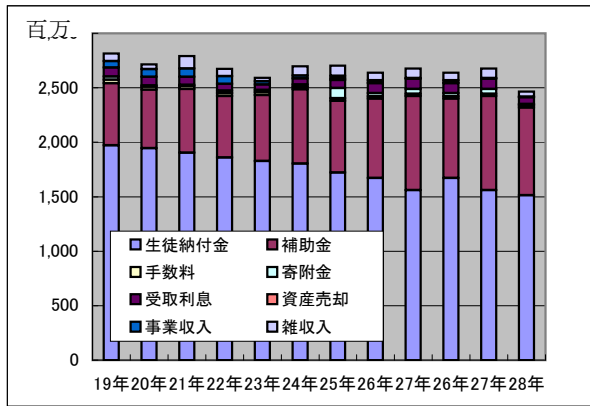


事業活動支出構成比率

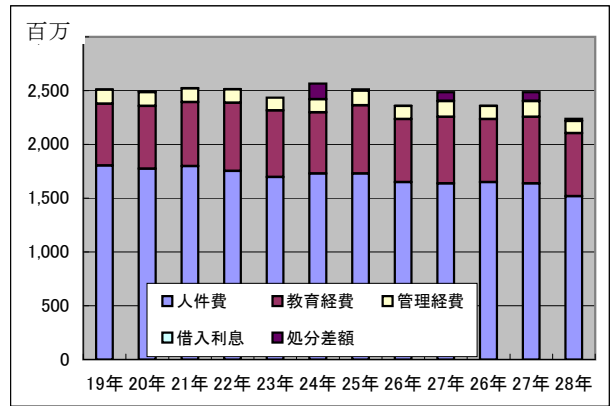


ウ) 事業活動構成比率推移(法人 10年間)

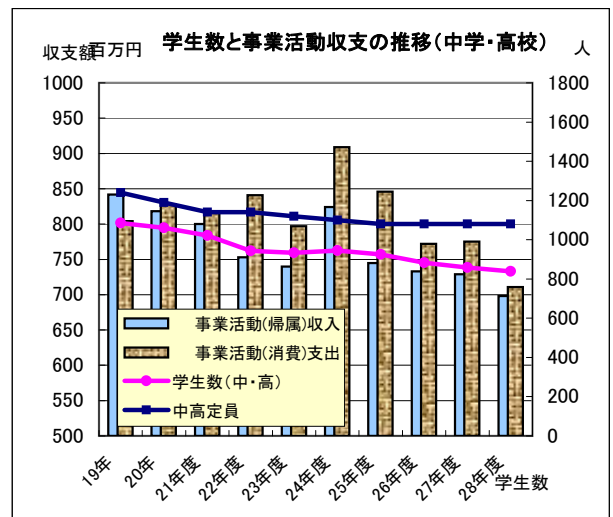
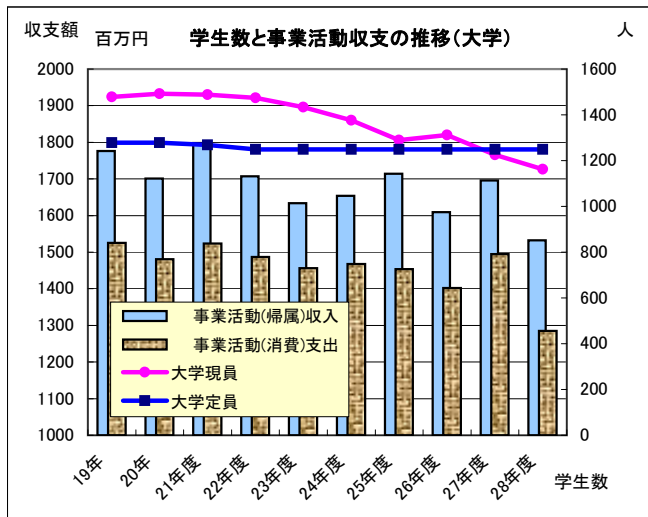
事業活動収入推移



事業活動支出推移

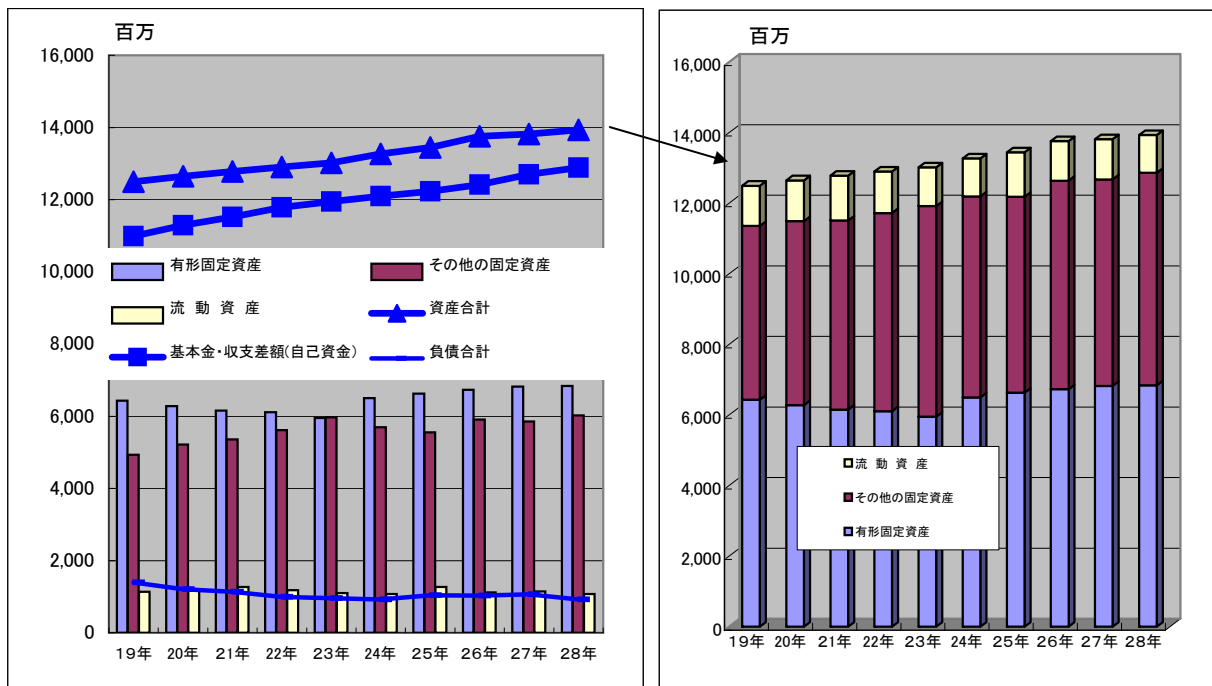


エ) 学生数と収支の関係推移



・25年度は学生数減となったが遺贈特別寄付7千万により収入は増加

②貸借対照表関係（資産・負債の推移）



※自己資金 = 基本金 + 繰越収支差額

③財務関係比率

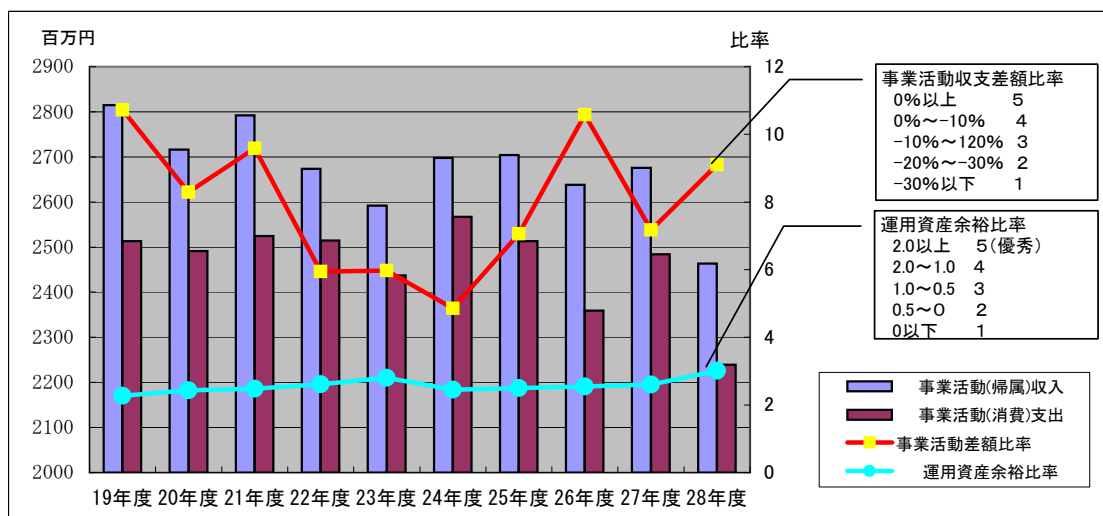
財務比率表（法人全体）

比率名称	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
1 固定資産構成比率	90.9	90.8	90.1	90.9	91.6	91.9	90.6	91.9	91.7	92.3
2 流動資産構成比率	9.1	9.2	9.9	9.1	8.4	8.1	9.4	8.1	8.3	7.7
3 減価償却率	36.2	38.2	35.8	42.1	44.4	40.2	40.6	41.4	40.8	42.1
4 固定比率	100.6	99.8	97.7	98.2	98.5	99.7	98.1	99.5	98.3	98.1
5 固定長期適合率	94.0	93.9	92.7	93.4	94.1	97.4	92.9	95.1	93.8	93.9
6 自己資金構成比率	90.4	91.1	92.2	92.6	92.9	92.2	92.4	92.3	93.3	94.1
7 繰越収支差額構成比率	8.4	8.6	9.3	8.7	8.3	8.8	9.2	8.2	8.3	8.3
8 基本金比率	97.6	95.3	98.4	98.6	98.8	97.2	97.5	96.8	98.1	98.3
9 固定負債構成比率	6.3	5.7	4.9	1.1	4.4	5.4	5.1	4.7	4.5	4.2
10 流動負債構成比率	3.3	3.3	2.8	2.7	2.7	2.5	2.5	3.0	2.2	1.7
11 総負債比率	9.6	8.9	7.8	7.4	7.1	7.8	7.6	7.7	6.7	5.9
12 負債比率	10.7	9.8	8.4	8.0	7.6	8.5	8.3	8.4	7.2	6.2
13 流動比率	275.6	281.4	349.3	335.8	317.1	327.3	376.8	273.1	369.4	464.8
14 前受金保有率	386.6	364.8	408.1	422.6	381.7	390.0	472.6	439.8	399.9	625.7
15 退職給与引当預金率	87.2	92.0	84.0	84.9	87.7	94.3	93.3	95.6	96.7	96.9
16 積立率	142.8	141.4	139.0	136.9	135.1	130.5	133.4	124.3	124.6	124.9

比率名称	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
17 学納金比率	70.0	71.6	68.2	69.6	70.6	66.8	63.7	63.3	60.8	64.1
18 寄付金比率	1.0	0.5	0.4	0.9	1.0	0.7	3.5	1.1	1.7	0.5
19 補助金比率	20.3	19.8	20.9	21.1	23.3	25.3	24.3	27.7	32.2	32.7
20 人件費比率	64.0	65.3	64.3	65.5	65.4	64.1	63.9	63.3	58.3	64.3
21 教育研究費比率	20.5	21.5	21.4	23.7	23.9	21.1	23.5	22.3	23.2	24.9
22 管理経費比率	4.6	4.7	4.6	4.7	4.6	4.5	5.0	4.6	5.5	4.8
23 借入金等利息比率	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24 基本金組入率	8.3	6.9	5.9	8.3	7.9	1.6	4.2	15.1	6.4	8.8
25 減価償却費比率	8.7	9.4	9.1	8.8	9.3	8.7	8.3	9.1	9.5	10.1
26 人件費依存率	91.4	91.2	94.4	94.2	92.7	95.9	100.4	98.6	104.8	100.3
27 基本金組入後収支比率	97.4	98.5	96.1	102.6	102.6	96.7	97.0	105.4	99.2	99.7
28 事業活動収支差額比率	10.7	8.3	9.6	5.9	6.0	4.9	7.1	10.6	7.2	9.1
29 教育活動資金収支差額	-	-	-	-	-	13.7	12.1	12.3	11.3	14.8
30 経常収支差額比率	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	6.0

#### ④経営指標を用いた分析

法人全体10年間の事業活動関係指標の推移



##### 事業活動収支差額比率

事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額を事業活動収入で除した率です。  
過去10年間、指標5を維持しております。  
この比率が高いほど自己資本が充実し経営に余裕があると言えます。

##### 運用資産余裕比率

学校法人の永続性及び資産と負債のバランスを表す指標です。  
過去10年間、指標5を維持しております。